

SOMPOホールディングス
サステナビリティ レポート 2024
イントロダクション
SOMPOのサステナビリティ
SOMPOの価値創造の全体像
環境
社会
DEI(Diversity, Equity & Inclusion)
人育成
人権
健康経営
金融包摂・あらゆる人々やリスクに対する保険普及
防災・減災(自然災害への社会のレジリエンス向上)
安心・安全なモビリティ社会への貢献
健康寿命の延伸
持続可能な社会保障制度への貢献
お客さまサービスの品質向上
社会貢献活動
社会福祉の「活動と研究」を支える取り組み
文化・芸術を通じたコミュニティ・社会への貢献
ガバナンス
データ等



DEI (Diversity, Equity & Inclusion)

SOMPOグループのDEIの目指す姿

考え方・方針

当社グループでは、DEIをグループの成長に欠かせない重要な取組みの一つと位置づけ推進しています。その目的を、「社員視点」「会社視点」「社会視点」の3つからとらえ、自律した個の違いを「尊重」して「対話」する企業風土・文化を醸成し、社員の誇りや働きがいを高め、成長を後押しすること(社員視点)、多様な個の活躍と意思決定の質の向上を、価値創造力とレジリエンスにつなげること(会社視点)、マイノリティを含むあらゆる人が安心して活躍できる職場・社会を作ること(社会視点)と考え取り組んでいます。SOMPOのパーパスに掲げる「“安心・安全・健康”であふれる未来」を実現するためにも、性別・障害の有無・国籍・年齢などに左右されることなく、すべての社員の一人ひとりの価値観が尊重され、それぞれの才能や強みを活かして対話することで、変化を先取りし新しい価値を生み出していく、真のDEIを実践していきます。

DEI推進の取組み

活動・実績

ジェンダーギャップの解消

社員の自律的なキャリア形成に向けて、意識醸成等を企図した育成プログラムやセミナー等の各種イベントを、ジェンダーを問わず、グループ全体や各社で実施し、女性のキャリアアップを支援する風土と環境を構築しています。

当社グループでは、経営上の意思決定における多様性向上を目指し、女性役員比率、女性部店長比率、女性管理職比率を2030年までに一律30%以上とする数値目標を設定しました。また、グループCEOを含む役員など、グループ主要キーポスト(計98ポスト)におけるサクセッション・プランを策定し、そのうち女性の候補者比率を50%とすることを目標としています。2024年4月1日現在の女性役員は、当社では5名(社外取締役3名、執行役1名、執行役員1名)、損保ジャパンにおいては6名(社外取締役1名、執行役員5名)、グループ全体の管理職に占める女性比率は25.5%*となっています。

*損保ジャパンでは、継続的な女性活躍の取組みにより、これまで管理職と定義していた「評価業務を受任したチームリーダー以上」の女性比率は、目標である30%を概ね達成しました。今後は、より上位の意思決定層である「リーダー職以上」を管理職と定義し、その女性比率を目標に定め取組みを加速させていきます。

Topic	女子プロサッカー「WEリーグ」とのタイトルパートナー契約を締結
当社は、2024年9月に開幕する日本女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」とタイトルパートナー契約を締結しました。WEリーグは、「女子サッカー・スポーツを通じて、夢や生き方の多様性にあふれ、一人ひとりが輝く社会の実現・発展に貢献する」という活動理念を掲げ、全国各地でジェンダー課題をはじめとした課題解決や社会貢献活動に取り組んでいます。WEリーグとの連携により、DEIの推進を図るとともに、さまざまな社会・地域課題の解決に取り組み、「“安心・安全・健康”であふれる未来」の共創を目指していきます。	
	

障害者活躍

当社グループは、障害者の職業生活における能力発揮・自己実現の場を安定的に提供するとともに、障害者活躍を通じたDEIの実現に向けて、障害者雇用促進に取り組んでいます。2024年4月1日現在の障害者雇用率は2.49%となっています。

損保ジャパンでは、管理職向けマニュアルを提供し、また全国に障害者職業生活相談員を配置し、障害のある社員の相談対応と働きやすい職場づくりのためのサポート等を行う体制を整えています。

※「障害の社会モデル」の考えに準拠し、当社では「障害者」と表記しています。

障害者の雇用促進に向けた特例子会社*「SOMPOチャレンジ株式会社」

グループ全体における障害者安定雇用のさらなる推進と障害者がいきいきと働ける環境づくりを目的に2018年4月に設立した特例子会社「SOMPOチャレンジ」は、当社グループの障害者雇用を牽引する役割も担っています。2023年12月からは、当社とSOMPOチャレンジが主体となり、グループ会社の障害者採用・定着を支援し、さらなる障害者雇用・活躍を促進しています。



*特例子会社とは、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に定める一定の要件を満たし厚生労働大臣の認定を受けた、障害者の雇用に特別な配慮をした会社のことです。

SOMPOホールディングス

サステナビリティ
レポート
2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人材育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

ガバナンス

データ等



DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

障害者の活躍推進に取り組む国際イニシアティブ「The Valuable 500」に加盟

「The Valuable 500」は、2019年1月の世界経済フォーラム年次総会(ダボス会議)にて「インクルーシブなビジネスはインクルーシブな社会を創る」という考えのもと、社会起業家のキャロライン・ケーシー氏により発足した国際的なネットワーク組織です。障害者がビジネス、社会、経済にもたらす潜在的な価値を発揮できるような改革をビジネスリーダーが起こすことを目的としています。

加盟に伴い、当社グループのコミットメントを打ち出しており、本イニシアティブの一員として変革を推進していきます。

Web 詳細は[SOMPOグループのコミットメント／「The Valuable 500」\(英語ページ\)](#)をご参照ください。

「ユニバーサルマナー検定」研修の開催

「ユニバーサルマナー検定」とは、ユニバーサルマナー(多様な方々へ向き合うマインドとアクション)を体系的に学び、実践するための検定です。お客さまに対して正しい理解のうえで、「合理的配慮」および価値ある商品・サービスをご提供することはもとより、働く仲間としても、障害者に対してより一層の理解・尊重をすることに努めています。

このような考えの下、当社ならびに国内主要事業会社は、2023年6月、多様性への理解浸透や意識向上を目的に、役員を対象として「ユニバーサルマナー検定3級」の取得に向けた研修を開催しました。

また、SOMPOひまわり生命では、マネジメントリーダー全員が「ユニバーサルマナー検定3級」を取得し、各職場で勉強会を開催することで、障害者雇用・活躍促進に対する社員の理解を深めています。



LGBTQ+活躍

人事制度をはじめとした職場環境整備

当社および損保ジャパンでは、配偶者がいる場合に対象となる手当や弔慰金の支給、慶弔休暇・育児休暇の取得および各種福利厚生施設の利用について、同性パートナーを配偶者とみなし、制度の対象としています。また、本社ビル・研修施設に「オールジェンダートイレ」、本社診療所に「誰でも更衣室」を設置しています。

理解浸透に向けた取組み

損保ジャパンでは、LGBTQ+の当事者を含めただれもが働きやすく、働きがいのある環境・風土構築に向け、ERG(Employee Resource Group)活動の1つであるLGBTQ+サークルが中心となり、情報共有や意見交換、社内交流会の開催、社外イベントへの参加をするほか、全社員を対象とした勉強会の開催、eラーニングの実施、全職場への教材・ワークブックの提供といった社員教育を行うなど、継続的な取組みを進めています。

また、2019年度よりLGBTQ+イベント「東京レインボープライド」に協賛しています。2024年度には、同イベントに当社と共同でブースを出展し、多くの社員や家族が参加しました。加えて、LGBTQ+サークルの発案により、2022年度から3年連続で、「名古屋レインボープライド」にも協賛、参加しています。



「東京レインボープライド」への参加

商品・サービスにおける対応

損保ジャパンでは、自動車保険や火災保険、傷害保険等における配偶者の定義を変更し、同性パートナーを配偶者として補償対象に含めています。

SOMPOひまわり生命では、同性パートナーを保険金受取人指定している際、「パートナーシップ証明書」の写し等の提出により従来行っていた確認を簡素化しています。

※SOGIEにおけるマイノリティの総称として、当社はLGBTQ+を使用します。

SOMPOホールディングス
サステナビリティ レポート 2024
イントロダクション
SOMPOのサステナビリティ
SOMPOの価値創造の全体像
環境
社会
DEI(Diversity, Equity & Inclusion)
人材育成
人権
健康経営
金融包摂・あらゆる人々やリスクに対する保険普及
防災・減災(自然災害への社会のレジリエンス向上)
安心・安全なモビリティ社会への貢献
健康寿命の延伸
持続可能な社会保障制度への貢献
お客さまサービスの品質向上
社会貢献活動
社会福祉の「活動と研究」を支える取組み
文化・芸術を通じたコミュニティ・社会への貢献
ガバナンス
データ等

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

多様な働き方を推進する人事制度

仕事とプライベートの両立は、性別や年齢を問わず今や全社員のテーマです。社員がいきいきと長く働き続けるためには、それぞれの状況に応じた多様な働き方を実現する必要があります。このため当社グループでは、仕事とさまざまなライフイベントの両立を支援する環境づくりに取り組んでいます。

ここでは、損保ジャパンを中心に、主なグループ会社で導入している制度等をご紹介します。

キャリア・トランスファー制度

制度上、転居を伴う転勤のない社員が、配偶者の転勤などのやむをえない事情で転居が必要な場合に、一定の条件を満たせば、勤務地を変更して働き続けることができる制度を整えています。

妊娠・出産・育児に関する制度

仕事と家事・育児の両立を支援することを目的として、「産前産後休暇」「出生時育児休業制度(通称:産後パパ育休)」「育児休業制度」「育児短時間勤務」などの休暇・休業・働き方に関する制度を整備しています。

子どもが満2歳1か月になるまで取得できる育児休業制度のうち、通算7日間までを「短期育児休業」と区分し、男女問わず、有給の休業としています。また、「育児短時間勤務」は原則、子どもが小学校3年生の学年末に達するまで利用可能で、複数の勤務時間パターンを用意しています。さらに、子どもの疾病または障害に起因するやむをえない事情があり、会社が必要と認める場合には、その子が満18歳に達する年度の末日までの範囲で、短時間勤務の選択を可能とするなど、男女問わず育児休業の取得ならびに仕事と育児の両立を図りやすい制度を整えています。

男性の育児休業に関しては取得1か月以上を推奨するほか、さらなる育児両立支援・男性育児休業取得推進に向け、2023年度からはグループ全体で当事者やマネジメント層を対象とした研修を開催しています。

育休者フォーラム

復職直前に抱える両立への不安を払拭し、スムーズな復職支援とキャリアを自分事として考え行動できるようにすることを目的に、オンラインで開催しています。所属長も参加し、育休からの復職者を受け入れ最大限の力を発揮させることができる職場環境を構築しています。

産育休者向け復帰支援策「アモーレサポート」

本人と職場メンバー全員の働きやすい環境づくりのため、「妊娠・出産・育児ガイド」「育産休取得者面談シート」「上司のための育休者対応マニュアル」など支援ツールを充実させています。また、定期的に会社の重要施策に関する情報提供を行っています。

介護に関する制度

高齢化の急速な進展により、家族の介護が身近な問題となっています。より安心して仕事と介護が両立できるよう、「介護休業制度(通算365日限度)」「介護休暇」「介護シフト勤務制度」「介護短時間勤務制度」の活用を推進するとともに、「仕事と介護の両立支援セミナー」の実施などを通じて、働きやすい環境を整えています。また、「仕事と介護の両立対応マニュアル」を提供し、職場の上司・同僚の理解を促しています。

関連するKPI項目と実績

活動・実績

(単位：％)			
KPI項目	2021年度	2022年度	2023年度
女性管理職比率*1	26.8	28.1	25.5
女性役員比率*2	9.0	11.5	12.7
サクセッションプランにおける女性候補者比率	32.4	41.9	42.6
外国籍役員比率	14.7	15.2	12.5
男女間の賃金格差*3	—	67.2	73.5
男性育休取得率	71	75	81
障害者雇用率*2	2.41	2.36	2.49

*1 翌年度4月1日時点の数値。先述(P.60記載)のとおり、損保ジャパンでは、管理職の定義を変更し、2023年度実績値には、変更後の定義に基づく同社数値を反映。なお、変更前の定義に基づく同社数値を反映した2023年度実績値は29.9％。

*2 翌年度4月1日時点の数値

*3 SOMPOホールディングス単体の数値

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

社外からの表彰

活動・実績

2021年度

- 厚生労働省「トモニ」認定(SOMPOひまわり生命)
- 厚生労働省・がん対策推進企業アクション企業コンソーシアム「コンソ40企業」選定(SOMPOひまわり生命)
- 経済産業省・東京証券取引所「令和3年度準なでしこ銘柄」選定(SOMPOホールディングス / 損害保険ジャパン)
- 厚生労働省・がん対策推進企業アクション企業コンソーシアム「令和3年度がん対策推進優良企業」選定(SOMPOひまわり生命)

2022年度

- 「日経スマートワーク経営調査」5星 認定(SOMPOホールディングス)
- 株式会社Job Rainbow「D&I AWARD 2022 アドバンス」認定(SOMPOひまわり生命)

2023年

- 「キャリアオーナーシップ経営AWARD 2023」グランプリ 受賞(SOMPOホールディングス)
- 厚生労働省「えるぼし認定」2つ星 認定(SOMPOひまわり生命)
- Work with Pride「PRIDE指標」ゴールド 受賞(2019年から5年連続、損害保険ジャパン)
- 「日経スマートワーク経営調査」4星 認定(SOMPOホールディングス)
- 厚生労働省・がん対策推進企業アクション企業コンソーシアム「令和5年度がん対策推進優良企業」選定(SOMPOひまわり生命)
- 株式会社Job Rainbow「D&I AWARD 2023 ベストワークプレイス」認定(SOMPOひまわり生命)

2024年

- 日経クロスウーマン 2024年版「共働き子育てしやすい企業ランキング」479社中・第2位(SOMPOひまわり生命)



SOMPOホールディングス

サステナビリティ レポート 2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに対する保険普及

防災・減災(自然災害への社会のレジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会への貢献

ガバナンス

データ等

：三

サステナビリティ
レポート
2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人材育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及

防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み
文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

ガバナンス

データ等

人材育成

グローバル経営人材育成

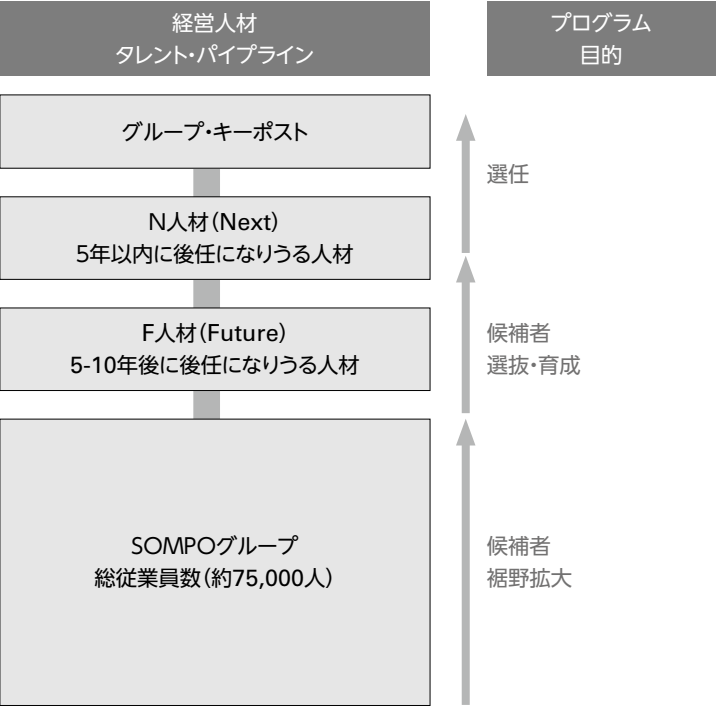
考え方・方針 活動・実績

多様なバックグラウンドを持った質の高い経営人材が安定的かつ効果的に輩出される体制の構築を目指し、サクセッション・プラン(後継者計画と育成・選任プログラム)と連動させたグローバル経営人材の育成に取り組んでいます。

SOMPO Global University

世界有数のビジネススクールでの講義を通した「経営知識の習得」と、知識を実践知化するための「グローバルな環境での実務経験」の2本柱で構成され、国籍を問わず、知識と経験、そして幅広い視野を持った将来の経営を担う人材の育成を目的としています。

グループ全体の経営人材育成・選任のフレームワーク

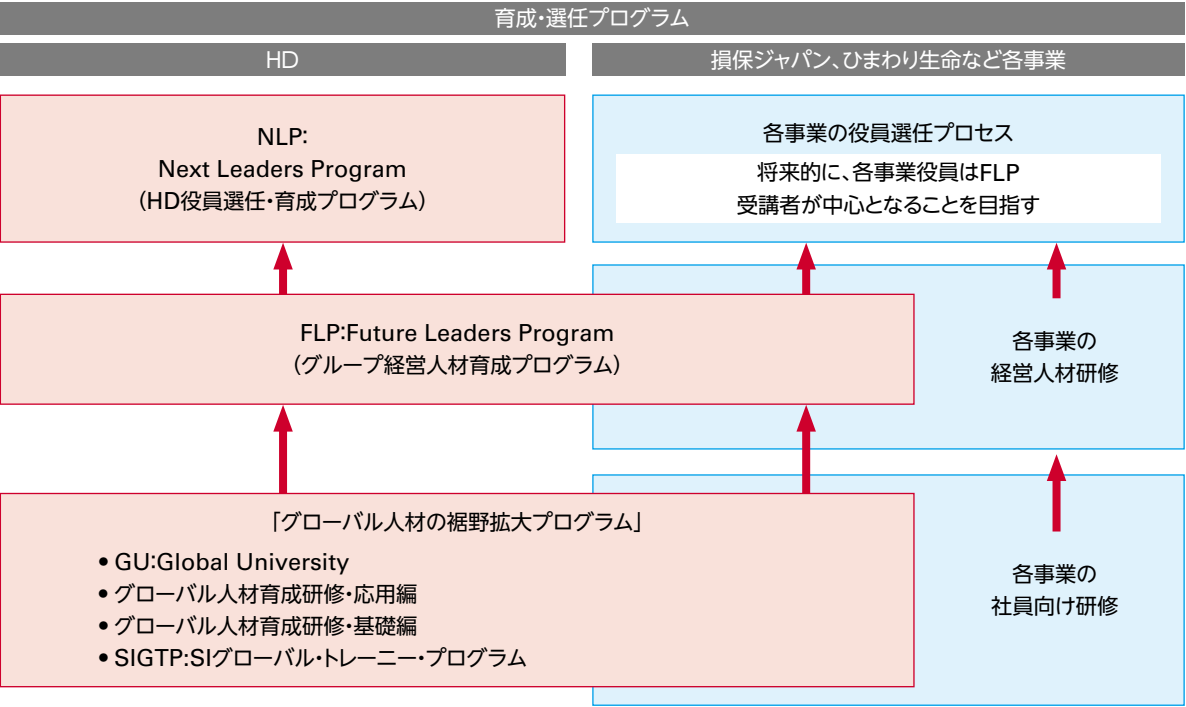


グローバル人材育成研修(基礎編・応用編)

基礎編は、グローバルマインドセット、コミュニケーション力の土台形成を目的として、日本語と英語を織り交せたディスカッションによるアウトプットの機会を提供しています。応用編では、社内講師を招いてグループの海外事業を学び、講義でのディスカッションを通して、実践的な英語力の習得や異文化理解を深めます。

SI(SOMPOインターナショナル)グローバル・トレーニー・プログラム

アンダーライティングを中心に各領域のプロフェッショナルが揃うSOMPOインターナショナルへ原則3年間派遣し、同社のノウハウなどについて修得するプログラムを実施しています。海外で文化の異なるビジネス環境でのチャレンジを通じて、高い専門性を伴ったグループのさらなる成長をリードするグローバル人材を育成します。



SOMPOホールディングス

サステナビリティ
レポート
2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人材育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及

防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み
文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

ガバナンス

データ等

：三

人材育成

セルフ・ドリブンな学びの場の提供

活動・実績

SOMPO他流試合チャレンジ

スタートアップ、NPOなどのグループ外へ派遣し、MYパーパスの実現につながる社会課題解決に取り組み、答えのない環境先でタフなアサインメントに挑戦するプログラムを実施しています。「企業文化変革を起こせる強いリーダーシップ」、「MYパーパスに基づくセルフ・ドリブンなキャリア形成」を体現できる人材を育成します。

デジタルワークシフト

「人を変え、仕事を変えて、会社を変えていくこと」を目指し、デジタルワークシフト(デジタル人材育成)を実施しています。DX(デジタルトランスフォーメーション)を実現するために求められる能力は多岐にわたるため、全社員を、①高度な専門スキルを有する「DX専門人材」、②デジタル施策を企画しDX推進の核として組織を牽引する「DX企画人材」、③デジタルを活用したお客さまへの価値提供の担い手である「DX活用人材」、の3区分に分類し、それぞれの役割に応じた研修を実施しています。

2023年度末時点でのDX人材数

DX人材：26,714名（達成率110％）

※内訳

①DX専門人材： 89名

②DX企画人材： 9,344名

③DX活用人材： 17,281名

グループ共通の学習プラットフォーム(予定)

社員一人ひとりのMYパーパスを起点としたセルフドリブンなキャリア開発の実現に向けて、現在、グループ共通学習管理システム(LMS)の導入の検討を進めています。さらにタレントマネジメントシステムとの連携により、学びから社員一人ひとりのキャリア形成(MYパーパスの実現)および最適なアサインメントにつながる仕組みを構築します。

自己選択型キャリア形成制度の拡大

考え方・方針

活動・実績

ジョブ型人事制度

MYパーパスとSOMPOのパーパスが重なる領域におけるセルフ・ドリブンなキャリア形成を支援する制度として、2020年度よりSOMPOホールディングスにおいてジョブ型人事制度を導入しました。本制度の特徴は、会社主導の人事異動を原則廃止した点にあります。会社主導ではなく、自らキャリアを選択することで、プロフェッショナルとして成果創出することを追求していきます。また、一般的なジョブ型人事制度とは異なり、同一組織・機能のなかでキャリアを形成していくだけでなく、グループ社員であれば応募可能な公募制度などを活用して従来の専門外にジョブを求めるキャリアパスも尊重しています。これにより当社グループのキャリアパスは、①同一部門・ポストで働き続け、特定領域の専門性の向上を追求する、②親和性の高いジョブ間で定期的なジョブ変更を志願し、自身のキャリアの軸の幅を広げる、③特定領域に長期間とどまらず、さまざまな部門へのジョブ変更を選択するなどの多様な選択肢を提供しています。ジョブ型人事制度は、損保ジャパンをはじめ当社グループ各社においても各社の特色に沿った制度を前提として導入を拡大しています。

ジョブ・チャレンジ制度

キャリアを自己選択する機会の一つとして、公募ポストに対して自らの意思で応募し、希望する部署への異動を可能とするジョブ・チャレンジ制度を推進しています。本制度は所属会社に限らずSOMPOグループ各社の公募ポストにも応募できる制度としており、2023年度は計28社、840ポストを応募可能ポストとして職務内容などを含めてグループ社員に開示しました。また、2021年度よりリモートチャレンジコースを新設し、フルリモートで業務を行うことを前提とした公募ポストを設置。介護や子育てなどで転居を伴う異動が難しく、自身の希望するポストに応募できない社員が、居住地変更をすることなく自ら希望するポストにチャレンジできることを可能とする仕組みを提供しています。

ひまわりMYパーパスキャリア制度(SOMPOひまわり生命)

社員がMYパーパスや知識・スキル、経験などを社内で開示し、本制度に応募。その内容に共感する部署がその社員にオファーを出し、希望する部署があれば実際にその部署へ異動することができる制度を2022年度より導入しています。社員同士が影響を受け合うことで、能動的に学ぶモチベーションを生み出し、「なりたい自分」を明確に描き、その実現に向けて自ら成長することで、社員一人ひとりのキャリア形成を後押しします。

サステナビリティ レポート 2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人材育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

ガバナンス

データ等

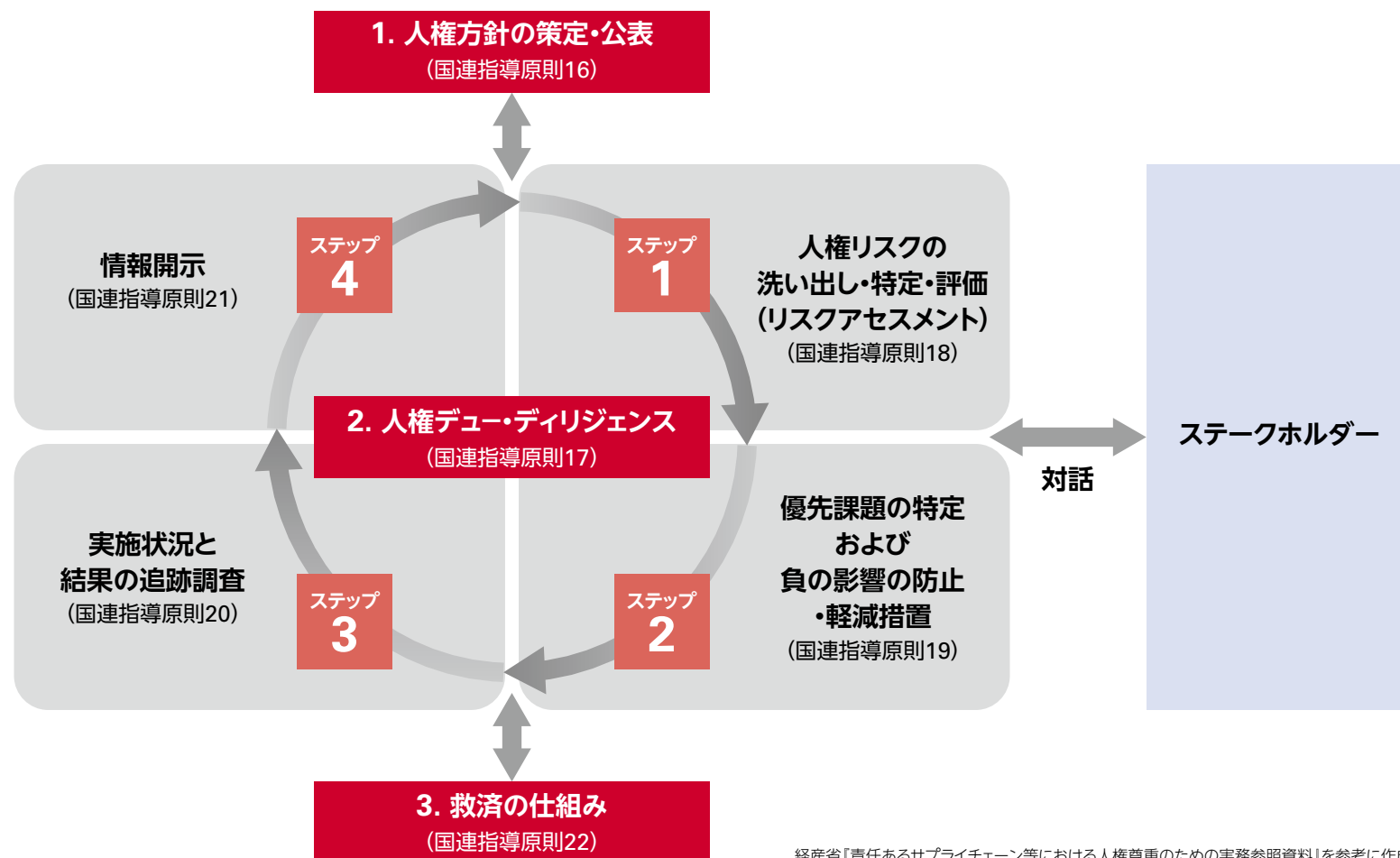
：三

人権

人権尊重の取組みの全体像

体 制

当社グループは人権尊重責任を果たすために、1.人権方針の策定・公表、2.人権デュー・ディリジェンス(以下「人権DD」という。)の実施、3.救済の仕組みの構築に向けて取り組んでいます。
また、ステークホルダーとの対話を継続的に行い、当社グループの状況などをふまえながら、改善を進めていきます。



経産省『責任あるサプライチェーン等における人権尊重のための実務参照資料』を参考に作成

SOMPOサステナビリティ

レポート

2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人材育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及

防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会への
貢献

ガバナンス

データ等

：三

人権

1. 人権方針の策定・公表

考え方・方針

当社グループは、「グループ人間尊重ポリシー」において、グループおよびバリューチェーンを含めたグローバル市場で、すべてのステークホルダーの基本的人権を尊重すること、国際的な行動規範を尊重しつつ、持続可能な社会の創造に向けて、高い倫理観をもって行動していくことを宣言しています。

本方針は、グループ全社員へ適用するとともに、取引先、協業先、委託先などのパートナー企業においても、適用するように働きかけを行います。

また、あらゆる形態の強制労働、人身取引、児童労働、差別やハラスメントなどの人間の尊厳を損なういかなる行為も許容しません。適用される法規制を遵守しつつ、結社の自由および団体交渉権に関する基本的な権利を尊重します。

当社グループでは、「グループCSR調達ポリシー」に基づいた調達を行うことで、取引先、協業先における人権への配慮を行うとともに腐敗防止に努め、すべてのサプライヤーに対して、公正・公平な取引を行います。

グループ人間尊重ポリシー

SOMPOグループは、当社グループおよびバリューチェーンを含めたグローバル市場で、すべてのステークホルダーの基本的人権を尊重することを宣言します。また、国際的な行動規範*を尊重しつつ、持続可能な社会の創造に向けて、高い倫理観をもって行動していきます。

取組みの推進にあたっては、以下の観点から、ステークホルダーの声をオープンに受け止めながら人権に対するさまざまな影響を把握し、人権侵害を防止するための実効性ある社内体制を確立・実行するとともに、社内体制の継続的な改善および情報開示に努めていきます。そして、普遍的な権利としての人間尊重に努めてまいります。

1. ステークホルダーに対する人権配慮

お客さま、取引先をはじめ、グローバルな事業活動に関連するすべてのステークホルダーの人権に配慮します。

また、ステークホルダーの人権を間接的に侵害する危険性を回避し、防止するよう最大限の努力を行います。そして、もし、人権を侵害するところにまでおよんだ場合は、これに速やかにそして適切に対処します。

2. 社員に対する人権配慮

職務遂行上のあらゆる面において、人種、肌の色、民族、宗教、信条、国籍、本籍、出身地、社会的身分、門地、性別、性的指向、性自認、性表現、妊娠、婚姻関係、年齢、障がいの有無、などを理由とした差別行為を一切行いません。

また、グローバルな視点に立ち、個と多様性(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)を認め、社員のチャレンジ精神・スピード感溢れる行動を支援し、社員の健康維持・増進に取組むことで活力ある労働環境を確保します。

3. グローバル市場における人権促進

事業活動およびバリューチェーンが展開される各国・地域の法令・規制等を遵守するとともに、文化や慣習、環境や社会への配慮、ステークホルダーの関心に即した、現地の人権問題に配慮し、透明性の高い経営を行い、当該国・地域の社会の発展と社会的価値創造に貢献します。

4. 取引先や協業先、委託先等のパートナー企業における人権尊重

取引先や協業先、委託先等のパートナー企業に対しても、国際的な行動規範に基づく人権の尊重を期待します。また、取引先やパートナー企業において人権への負の影響が認められる場合には、必要に応じて対話・協議を行うなど、適切な対応を促します。

5. 人権リスクへの対応態勢

当社グループの活動が人権に及ぼす潜在的な負の影響を防止・軽減できるよう、人権リスクを特定し、継続的に評価する態勢を構築するなど、適切に対処します。

本ポリシーは、現地の法令・規制に取って代わるものではありません。当グループは、現地の法令・規制を遵守しながら、本ポリシーに積極的に取り組んでいきます。

*国際的な行動規範とは、世界人権宣言、国際人権規約(自由権規約、社会権規約)、ILO国際労働基準、国連「ビジネスと人権に関する指導原則(ラギーフレームワーク)」、持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)、国連グローバル・コンパクト、女性のエンパワメント原則(WEPs)、OECD多国籍企業行動指針、ISO26000に基づいた人権ガイドラインなどをいいます。

グループCSR調達ポリシー

当社グループは、「グループCSR調達ポリシー」に基づいた調達を行うことで、環境、社会、経済に配慮した事業活動を推進し、持続可能な社会づくりに貢献していきます。

PDF

詳細は[グループCSR調達ポリシー](#)(P.10)をご参照ください。

**サステナビリティ
レポート
2024**

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI (Diversity, Equity & Inclusion)

人材育成

人權

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及

防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会への貢献

ガバナンス

データ等

- _____
- _____
- _____

人權

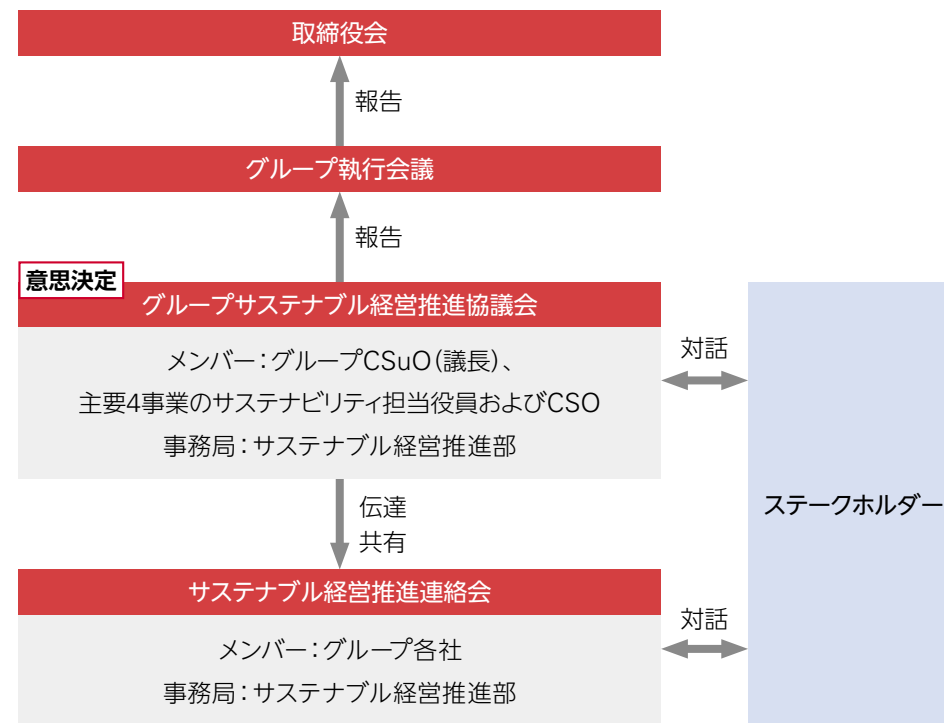
1. 人権方針の策定・公表

体制

人権を含むESGに関する適切な対応を促進するために、当社ではグループ全体のサステナビリティの推進母体であるグループサステナブル経営推進協議会（以下「協議会」）を中心とする推進体制を構築しています。

協議会は、グループのサステナビリティ課題に関する意思決定を行う機関として、グループCSuOを議長、損保ジャパン、SOMPOインターナショナル、SOMPOひまわり生命、SOMPOケアの主要4事業のCSuO(サステナビリティ担当役員)およびCSOをメンバーとし、その傘下に配置されたサステナブル経営推進連絡会に決定事項の伝達・共有を行うことで、グループ全体で施策を実行する仕組みとしています。また、協議会での協議・報告事項は、グループ執行会議を経て取締役会に定期的に報告される体制を構築しています。

人権課題については協議会の事務局を務めるサステナブル経営推進部が中心となり、ステークホルダーからの意見をふまえて実効性のある社内体制を確立しています。優先課題や取り組み状況について継続的な改善を図り、これらの状況を開示することが重要であると考えています。

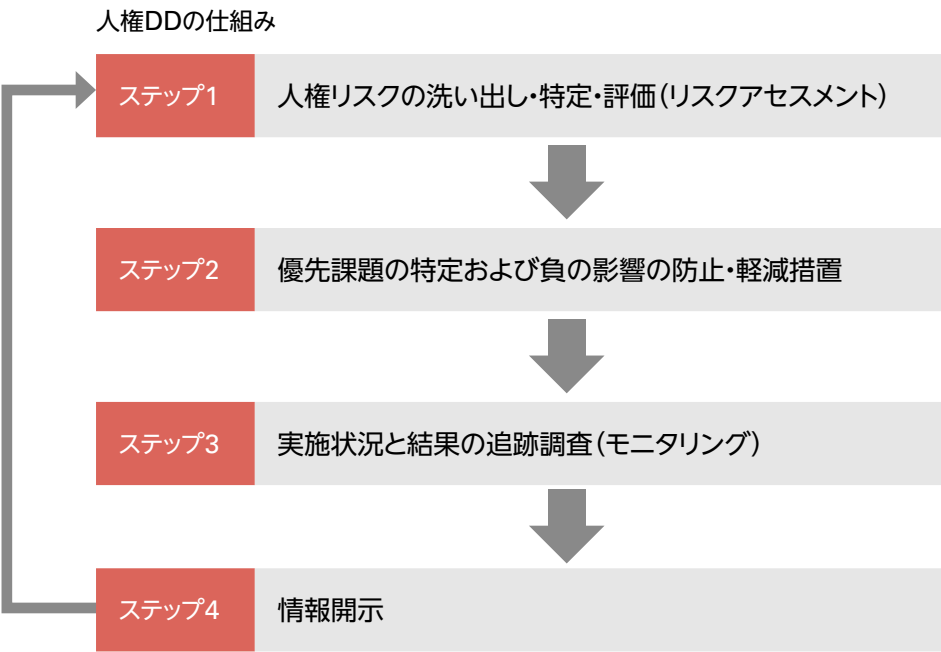


人権

2. 人権デュー・ディリジェンス

体 制 活動・実績

当社グループは、国連「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づき、人権に負の影響を与えるリスクを特定、防止、軽減、適切な措置の実施、情報開示のための人権デュー・ディリジェンス(人権DD)の仕組みを以下の4つのステップで構築しています。また、人権の状況は常に変化するため、定期的に繰り返し、かつ徐々に掘り下げながら取り組んでいく必要があると認識しています。



ステップ1 人権リスクの洗い出し・特定・評価 (アセスメント)

当社グループは、ERM(戦略的リスク経営)の枠組みを活用し、すべての事業を対象に、発生する可能性のある「人権の尊重に関する潜在的な影響とリスク」を洗い出し、優先課題の特定、評価に取り組んでいます。

人権リスクの洗い出しにあたっては、UNEP FIの金融機関向けに策定した人権リスクに関するガイダンス(UNEP FI Human Rights Guidance Tool for the Financial Sector)や、国連グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンのCSR調達セルフ・アセスメント質問表など、さまざまな国際的ガイドラインを参照しています。

サステナビリティ
レポート
2024

イントロダクション
SOMPOのサステナビリティ
SOMPOの価値創造の全体像
環境
社会
DEI(Diversity, Equity & Inclusion)
人材育成
人権
健康経営
金融包摂・あらゆる人々やリスクに対する保険普及
防災・減災(自然災害への社会のレジリエンス向上)
安心・安全なモビリティ社会への貢献
健康寿命の延伸
持続可能な社会保障制度への貢献
お客さまサービスの品質向上
社会貢献活動
社会福祉の「活動と研究」を支える取組み
文化・芸術を通じたコミュニティ・社会への貢献
ガバナンス
データ等

SOMPOホールディングス

サステナビリティ
レポート
2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人材育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

ガバナンス

データ等

:三

人権

2. 人権デュー・ディリジェンス

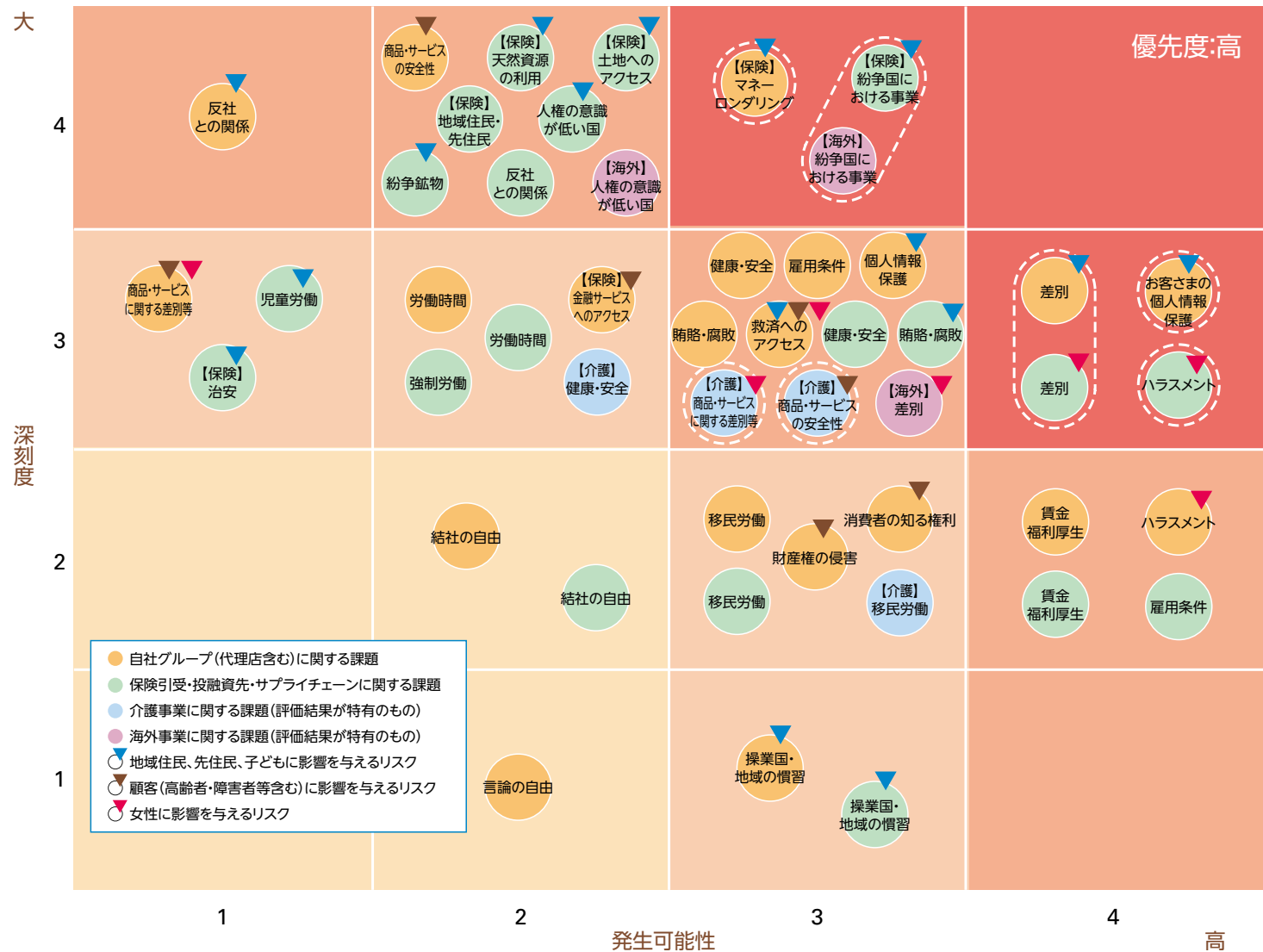
リスク評価結果 —人権リスクマップ

グループ全体で実施されたリスクアセスメントに基づき、優先的に対応をする課題を特定するため「深刻度*1」と、「発生可能性*2」を評価軸として1年に1度、負の影響度を分析しています。

2024年度の人権リスク評価にあたっては、新たに健康および安全、ハラスメント、従業員などの個人情報漏洩やプライバシーの侵害、商品・サービスに関わる人権の尊重と差別の禁止などの人権リスクを確認し、多面的にリスクを整理するようにしています。

*1 規模(影響の重大性)、範囲(影響の及ぶ範囲)、救済困難度(影響が生じる前と同等の状態に回復することの困難度)をもとに評価

*2 リスクが実際に起こる可能性(頻度)、「およそn年に1回の頻度で生じるか」をもとに評価



SOMPOホールディングス
サステナビリティ レポート 2024
イントロダクション
SOMPOのサステナビリティ
SOMPOの価値創造の全体像
環境
社会
DEI(Diversity, Equity & Inclusion) 人材育成 人権 健康経営 金融包摂・あらゆる人々やリスクに 対する保険普及 防災・減災(自然災害への社会の レジリエンス向上) 安心・安全なモビリティ社会への貢献 健康寿命の延伸 持続可能な社会保障制度への貢献 お客さまサービスの品質向上 社会貢献活動 社会福祉の「活動と研究」を支える取り組み 文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ の貢献
ガバナンス
データ等



人権

2. 人権デュー・ディリジェンス

防止・軽減の取り組み

● **グループ全従業員を対象とした人権啓発研修**
人間尊重に向けた社員の相互理解をさらに深め、働きがいのある、働きやすい、いきいきとした活力溢れる職場づくりを目的として「サステナビリティ・人権研修(e-Learning含む)」を当社グループ社員を対象に、毎年、実施しています。

研修では、「グループ人間尊重ポリシー」を周知するほか、「ビジネスと人権」の概要、社会課題を反映したノーマライゼーション、LGBTQ+、ハラスメント、在留外国人やSDGsなど、数々の人権問題を広く学んでいます。

● **グループ役員を対象とした研修**
SOMPOホールディングスならびに主要事業会社は、グループ全体の多様性への理解浸透や意識向上を目的として、役員を対象に研修を開催しました。

PDF 詳細は[DEI\(Diversity, Equity & Inclusion\)](#)(P.60-63)をご参照ください。

● **保険引受・投融資における取り組み**
保険引受・投融資を通じた人権リスク軽減への取り組みとして、環境・社会に負の影響を与える可能性のある保険引受・投融資に関しては、注意を要する事業を特定しています。環境や社会に及ぼす悪影響を評価のうえ、慎重に対応しています。なお、対象事業における具体的な案件の特定においては、ステークホルダーとの対話をふまえ、アセスメントを実施しています。

Web 詳細は[事業におけるESG配慮](#)をご参照ください。

● **職場の安全・衛生と健康経営への取り組み**
当社グループでは、健康経営戦略に基づき、職場の安全・衛生と従業員の健康維持・増進に取り組んでいます。健康経営推進本部会議で示されたリスク評価の結果や取り組むべき重点課題などもふまえてKPIを設定し、実施している各種取り組みの結果把握や効果検証を行っています。

2024年度の人権リスク評価では、全組織の79.5%が「従業員およびサプライチェーンの労働者の長時間労働」のリスクを特定しました。影響を受けるすべての組織が、長時間労働のリスクを軽減するための対策を策定し、実施しました。

ステップ3 実施状況と結果の追跡調査(モニタリング)

人権尊重の取り組みに関する実態調査

グループのすべての事業を対象に人権リスクアセスメントをしています。各社各部門は自社の人権リスクの洗い出しを行い、人権リスクと判断されたものについて対応策を含む計画を立てています。対応策の計画策定率は100%となります。

ステップ4 情報開示

当社は「グループ人間尊重ポリシー」にのっとり、人権への負の影響に対処するための取り組みの進捗状況について、自社ウェブサイトやサステナビリティレポートにて報告しています。また当社は、英国現代奴隷法への声明を自社ウェブサイトで開示しています。このようなコミュニケーションを経て、評価プロセスの見直しと改善を行っています。

Web [人権](#)

Web [英国「現代奴隷法」への対応](#)

Web [Modern Slavery Act Policy and Statement\(英語ページ\)](#)

サステナビリティ
レポート
2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及

防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

ガバナンス

データ等

人権

3. 救済の仕組み

体 制

活動・実績

国連が定める「ビジネスと人権に関する指導原則」で求められている8つの要件に照らし合わせると、既存の内部通報制度では、実効性の観点から課題を残しており、見直ししていく必要性があることを認識しています。例えば、内部通報制度が「関与（エンゲージメント）と対話に基づくこと」の要件においては、ステークホルダーやNGOとの関係を構築し、当社グループの人権への取組みに関する仕組みや実績についての対話・協議を重視していくことが必要と考えています。

今後も、救済へのアクセスの機能向上に向け、指導原則が求める要件をふまえ、実効性のある内部通報制度の構築に向けて取組みを進めていきます。

ご意見・苦情の受付と対応

当社グループでは、グループ各社において、さまざまなステークホルダーから、人権を含めた苦情、相談やご意見を受け付けています。

例えば、損保ジャパンでは、お客さまからの当社グループの事業活動全般に関する不満足申し出を苦情ととらえており、お客さまからお寄せいただいた苦情を真摯に受け止め、その傾向や内容を集計・分析して、業務・商品・サービスの改善につなげる取組みを推進しています。

従業員からの通報・相談態勢と是正措置

当社グループは、職場におけるハラスメントやいじめ・嫌がらせなどの問題行為に関する情報を早期に把握し、働きやすい職場環境を構築するため、コンプライアンス全般に関する通報・相談窓口に加えて、人権相談窓口を設置し電話やメールで個別相談を受け付けています。対応については、通報者・相談者の意向を確認しながら問題解決につなげています。

受け付けた通報・相談のうち、法令違反、社内規程違反、「SOMPOグループコンプライアンス行動規範」の精神に反する懸念や問題が疑われる場合には、会社は厳正かつ公正に調査します。

また、法令、行動規範、その他の社内規程に違反する行為が判明した場合、違反者は雇用契約および就業規則で定める基準および要件に基づき、解雇を含む懲戒処分の対象となる場合があります。

Web

各通報制度の詳細

- [お客さまの声対応管理態勢](#)
- [苦情の受付状況](#)
- [内部通報・相談態勢](#)
- [SOMPOグループ コンプライアンス行動規範](#)

ステークホルダーとの対話

活動・実績

当社グループでは、人権関連NGO・NPOの皆さまとの対話を通じてさまざまな人権課題や当該人権課題と各社の事業活動との関係、人権に関する負の影響などへの理解を深め、各社の人権尊重の取組みに活用しています。

2024年5月末までに、すべてのグループ企業を対象とした人権リスクについて、下記の2点について意見交換・ご助言をいただきました。

- 1.グループ会社の事業内容から、各事業で新たに抽出すべき人権リスク
- 2.金融、保険業界全体で、特に重要または今後注視すべき人権課題

ステークホルダーからのご意見

意見交換にて明確化された人権リスクについては、2024年度の人権リスクの洗い出し項目に追加し、評価・分析を実施します。

- 介護事業では、労働時間や雇用条件、移民労働者、商品・サービスの安全性に関するリスクなども考慮する必要がある
- AIと人権は大きなトピックになっている。テクノロジーの開発の段階からありうる人権に対する負の影響を議論する必要がある
- 投融資先や保険引受先との人権リスクについての対話や、業種ごとの人権リスクに対する仕組みづくりが重要である
- 海外拠点や紛争と関わりのある地域での事業活動においては、厳格な人権DDの必要がある
- 幅広く一定の基準に沿ってサービスを提供している保険業界では、マイノリティの観点からみて差別にあたらないかを考慮する必要がある

SOMPOグループの健康経営がめざす姿

考え方・方針

SOMPOのパーパスである「“安心・安全・健康”であふれる未来」に向けて、引き続き健康経営土台づくりに努め、社員とその家族の心と体の健康を大切にします。

「グループ人間尊重ポリシー」においては、社員の健康維持・増進に取り組み、活力ある労働環境を確保することを、「SOMPOグループ健康宣言」^{*2}においては、社員とその家族の心と体の健康を大切にすることを掲げています。加えて、さまざまなステークホルダーに対しても、健康経営に関する周知・啓蒙や取組み支援を行っています。

- ^{*1} 健康経営[®]は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です
- ^{*2} グループ各社においても、「社員およびその家族の健康が大切である」という考え方を具現化し、実践に移すために、「健康宣言」などを行っています。
- 損保ジャパン：「健康宣言」(2016年10月)
 - SOMPOひまわり生命：「社員の健康応援プロジェクト」(2016年4月)、「健康経営宣言」(2020年10月)

当社グループでは、健康経営の具体的な取組みを加速するため、健康経営戦略マップを策定し、全社員が心身ともに健康である状態を目指してさまざまな健康投資(各種施策)を体系立てて実行しています。そのなかでも、健康経営の土台となる労働安全衛生に関する法令遵守やメンタルヘルス対策、法定外労働時間の削減に対する取組みに力を入れています。

SOMPOグループの健康経営がめざす姿



「SOMPOグループの健康経営がめざす姿」は、当社グループの経営戦略や健康経営の各施策の効果等もふまえて定期的に見直しを検討していきます。

サステナビリティ
レポート
2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及

防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

ガバナンス

データ等



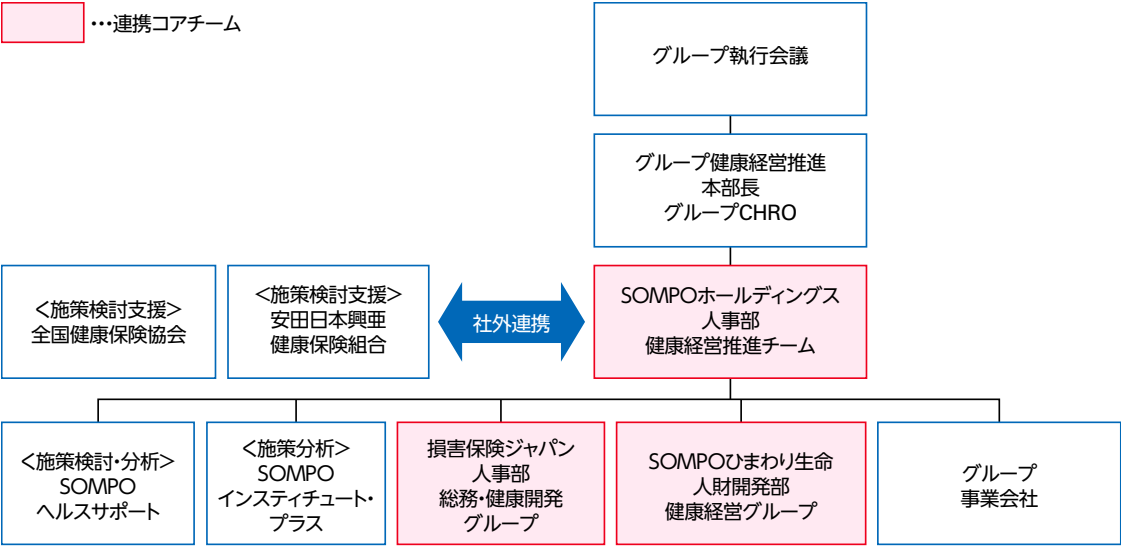
健康経営

グループにおける推進体制

体 制

当社グループでは、グループCHROがグループ健康経営推進本部長として、社員とその家族、お客さま、サプライチェーンの取引先や価値創造を図る事業者の方々などに対して、健康の維持・増進に向けた取組みや、健康経営の支援を強化・牽引しています。

また、グループ全社員の心身の健康の維持・向上のため、損保ジャパンやSOMPOひまわり生命をはじめとするグループ会社や健康保険組合と連携し、さまざまな施策を展開しています。



SOMPOホールディングス
サステナビリティ レポート 2024
イントロダクション
SOMPOのサステナビリティ
SOMPOの価値創造の全体像
環境
社会
DEI(Diversity, Equity & Inclusion) 人材育成 人権 健康経営 金融包摂・あらゆる人々やリスクに 対する保険普及 防災・減災(自然災害への社会の レジリエンス向上) 安心・安全なモビリティ社会への貢献 健康寿命の延伸 持続可能な社会保障制度への貢献 お客さまサービスの品質向上 社会貢献活動 社会福祉の「活動と研究」を支える取組み 文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ の貢献
ガバナンス
データ等

健康経営

主な取組み

活動・実績

以下の3つを重点課題として、当社グループの健康経営の土台づくりに取り組んでいます。

- (1) メンタル休職者の増加
- (2) 長時間労働の常態化
- (3) 各社の健康経営推進状況のばらつき

(1) メンタル休職者の増加

2020年度～2022年度の3か年度において、安田健保所属の当社グループのメンタル疾患による私傷病手当の申請件数が2.2倍になっています。

当社グループのメンタル休職者数は増加していることがうかがえるため、早急に対策を講じていく必要があります。

まだ明確な改善がみられていないものの、多くの意見を参考にし、中長期的に取り組んでいきます。

ラインケア研修の実施

管理者がメンタルヘルス対策を実施して、部下のメンタル不調を予防する方法を学ぶ研修です。

メンタルヘルスが悪化する前に、早期に問題を発見し対処する知識を学び、適切なサポートができるようにする助けとなります。

2023年度の研修は全グループ会社のマネジメント層を対象に任意参加で実施し、グループ会社23社、334名が参加しました。事例紹介やメンタル対応についてQ&Aコーナーを設け、参加者の満足度は99.1%となりました。

研修参加者へのアンケートでは、メンタルについて課題を持っていると回答した参加者は約8割と業種特性問わず課題であること、本社/現場部門別に見ても、本社部門78.4%、現場部門75.3%と部門特性問わずメンタルに課題があることもわかりました。

また、長時間労働の課題があると回答した参加者は、本社部門58.6%、現場部門47.3%と約10%の開きがあり、本社部門の方が長時間労働に対して課題を認識していることがわかりました。

厚生労働省の「職場におけるメンタルヘルス対策の状況」によると「仕事の量・質」がストレスの原因の第一位となっており、長時間労働とメンタル不調は無関係ではないため、引き続き研修のなかでも取り上げていきたいテーマとなります。

やりがい向上・組織の活性化の取組み

企業の持続的成長のためには、社員の仕事における幸せ(Happiness at work)の実現が必要となります。当社グループでは、健康経営の推進によりウェルビーイング、仕事を通じた働きやすさややりがいなどだけでなく、社員の心と体の健康を高めることができると考えています。

グループのパーパスを実現させる原動力は「社員およびその家族の健康」であるため、心身の健康管理を経営課題として認識する旨を明確に宣言し、SOMPOの人材・組織変革と連動させることで、多様な働き方の実現に向け、健康経営をさらに推進していきます。

具体的には、社員のエンゲージメントを数値化するため、全グループ会社でエンゲージメント・サーベイを定期的の実施することで、モチベーションの低下や職場環境への不満などを発見しています。サーベイ結果を労働時間の状況やストレスチェックの結果とあわせて職場単位で見える化し、組織ごとの対話の機会の設置や職場環境の改善などの取組みを進めることで、社員のエンゲージメントややりがいの向上、組織の活性化につなげています。

また、損保ジャパン、SOMPOホールディングスでは、企業文化の変革の状況を把握し、一層の改善につなげることを目的に、毎月のカルチャーチェンジサーベイの実施も開始しました。

(2) 長時間労働の常態化

日本全国の法定外労働時間の月平均が13.3時間のところ、SOMPOグループの約半数の企業が月平均30時間以上と、全国平均を大きく超すだけではなく、年間ペースに換算した場合には、36協定に抵触する労働時間となっています。

ただ各社前年度比では改善がみられるため、引き続き各社健康経営推進担当者と情報共有しながら施策を検討していきます。

労働安全衛生の遵守

SOMPOグループの各職場の衛生委員会にて労働安全衛生に関する議論を通じて、社員の健康維持・増進を図っています。

SOMPOホールディングス

サステナビリティ
レポート
2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人材育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

ガバナンス

データ等

:三

健康経営

衛生委員会では労働時間の状況を労働組合や従業員代表と共有し、過重労働対策について議論した内容を人事部長や支店長など各拠点の上長に報告し、さらに改善要望などをもらっています。

衛生委員会を形骸化せずに有効活用するためにも、衛生委員会を通して各拠点の上長も交えて課題に対するPDCAサイクルを回してもらえるよう啓蒙しています。

(3) 各社の健康経営推進状況のばらつき

各社の健康経営に対する取組みにばらつきがあり、エンゲージメント・サーベイにおけるウェルビーイングに関する設問のスコアが低いことから、グループ全体で健康経営を推進するために、グループ各社のベストプラクティスの共有や課題に対する意見交換、相談の場を設けました。

健康経営推進本部会議

当年度の健康経営推進方針の再発信による健康経営の重要性の理解・浸透と、健康経営コミュニティを通じたグループシナジーの醸成を目的として開催しています。

会議では、グループ会社27社、89名が参加し、グループCHROから各社トップに向けて健康経営方針と重点課題等を発信しました。グループ方針と重点課題に対する共感や理解が深まったとの声があり、経営戦略としての健康経営の重要性が改めて認識されました。また、他社の取組みを知る機会が得られたことに対する好評の声も聞かれました。

健康経営コミュニティの開催

健康経営コミュニティは、グループ各社の横のつながりを持つ機会が作れなかったことや、グループ他社の取組み・課題を知りたいという声のもと結成されました。

2023年度は6月から12月にかけて計3回実施し、各社健康経営推進担当者にて課題・好取組みの共有、情報交換等を行っています。

またメンタルヘルスの基礎知識に関する学びの場の提供にもなっています。

2023年度の実績

6月	参加者：61名 24社	満足度平均： 81.3%
10月	参加者：33名 21社	満足度平均： 90.5%
12月	参加者：38名 24社	満足度平均：100.0%

このほか、以下の取組みも進めています。

フィジカルに対する健康増進

データヘルスの取組み

ヘルスケア事業を展開するSOMPOヘルスサポートの健康データ分析ノウハウを活用し、健康保険組合とも連携しながら、データヘルスに取り組んでいます。

損保ジャパンおよびSOMPOひまわり生命では、生活習慣と健康診断やストレスチェック結果、WLQ-Jスコアなどの分析から相関が認められた、生活習慣の改善に取り組んでいます。

生産性向上および健康増進のためのスペースの設置

当社グループでは、人材・組織変革推進や健康経営の一環として社員の生産性の向上と健康増進のためのワーキングスペースを設置しています。場所を問わない働き方として、効率的に作業や会議ができるスペースや仮眠も可能な集中ブースなど柔軟な働き方の実現により生産性の向上の効果が得られています。

また「開かれた本社」、「カルチャー変革の象徴」として、これまで損保ジャパン、SOMPOホールディングスの役員中心で使用していた損保ジャパン本社ビル43階の特別食堂を一般社員(含むグループ会社)に開放しました。景色の良い最上階の同フロアでは、個人ワークスペースのほか、少人数ミーティングとして利用可能なワークエリアを設置し、新たなグループのつながりの場を提供しています。

就業時間内禁煙の実施

当社グループでは社員の健康増進のため、グループ全体で禁煙に積極的に取り組んでいます。

すでにSOMPOひまわり生命では、2019年4月から社内禁煙の取組みをより一層強化し、全社員就業時間内禁煙を導入するとともに、2020年4月入社対象以降の新卒採用募集要項に、「入社時点で非喫煙者であること」を明記しています。また、喫煙者向けにオンライン禁煙プログラムの勧奨など個別フォローを実施しています。

全体の喫煙率は15.5%であり、国が目指す12%まであと一歩であるものの、この3%に大きな壁があるため、達成のためにはまず物理的に喫煙機会を減らす＝屋内・屋外全面禁煙を目指して推進していくことを検討しています。

SOMPOホールディングス

サステナビリティ
レポート
2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人材育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及

防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み
文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

ガバナンス

データ等



健康経営

健康課題と主な効果検証指標

活動・実績

当社グループは、「SOMPOグループの健康経営がめざす姿」の実現に向け、従業員などの意識変容・行動変容に関する指標を定め、進捗状況を継続的に測定することで、取組みの改善へとつなげています。

SOMPOホールディングス								
重点取組課題		設定KPI	単位	目標値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
生活習慣病予防対策	1*1	定期健康診断受診率	%	100.0	100.0	99.1	99.4	100.0
	2*2	特定保健指導実施(終了)者	%	90.0	40.0	60.0	30.0	16.0
	3*2	適正体重維持者率 (BMIが18.5～25未満)	%	80.0	47.1	63.4	68.9	66.5
	4*2	運動習慣者比率	%	30.0	41.2	40.2	37.0	38.5
喫煙対策	5*1	喫煙率	%	12.0	11.8	9.8	10.9	11.5
メンタルヘルス対策	6*1	ストレスチェック受検率	%	100.0	92.3	94.4	95.8	95.3
		総合健康リスク	—	100未満	85	84	87	85
プレゼンティーズムの改善	7*1	パフォーマンス総合評価*3 WLQ-Jスコア(100%が最も生産性が高い状態)	%	前年度比改善	95.4	95.3	95.3	95.5

損保ジャパン								
重点取組課題		設定KPI	単位	目標値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
生活習慣病予防対策	1*1	定期健康診断受診率	%	100.0	100.0	99.9	99.9	99.9
	2*1	定期健康診断後精密検査受診率	%	100.0	36.0	65.6	71.0	75.6
	3*2	特定保健指導実施(終了)者	%	90.0	52.3	75.9	82.5	64.8
	4*2	適正体重維持者率(BMIが18.5～25未満)	%	80.0	66.2	66.0	66.4	65.8
	5*2	運動習慣者比率	%	30.0	19.8	21.3	21.7	22.5
喫煙対策	6*1	喫煙率	%	12.0	14.9	14.5	14.0	14.3
メンタルヘルス対策	7*1	ストレスチェック受検率	%	100.0	93.1	93.3	97.8	97.9
		総合健康リスク	—	100未満	101	100	104	100
プレゼンティーズムの改善	8*1	パフォーマンス総合評価*3 WLQ-Jスコア(100%が最も生産性が高い状態)	%	95.0	94.1	94.0	93.6	93.8

SOMPOひまわり生命								
重点取組課題		設定KPI	単位	目標値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
生活習慣病予防対策	1*1	定期健康診断受診率	%	100.0	99.9	100.0	100.0	100.0
	2*2	適正体重維持者率 (BMIが18.5～25未満)	%	80.0	68.2	67.3	66.7	66.9
	3*2	運動習慣者比率	%	30.0	24.0	26.8	26.6	26.0
喫煙対策	4*1	喫煙率	%	12.0	11.1	9.3	7.5	6.9
メンタルヘルス対策	5*1	ストレスチェック受検率	%	100.0	95.1	97.7	92.5	98.1
		総合健康リスク	—	90	98	95	94	91
プレゼンティーズムの改善	6*1	パフォーマンス総合評価*3 WLQ-Jスコア(100%が最も生産性が高い状態)	%	100.0	94.0	93.9	93.9	93.9

*1 各項目対象者/全社員

*2 各項目対象者/40歳以上

*3 ストレスチェックと同じ受検率

一人あたり医療費/保健事業費 (SOMPOホールディングス)					
項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
1人あたり医療費	円	218,814	240,301	262,745	178,234
1人あたり保健事業費	円	28,957	31,113	30,367	36,777

健康施策に関する情報 (SOMPOホールディングス)			
項目	2021年度	2022年度	2023年度
健康施策に対する社員の満足度(5段階評価)	3.02	3.06	3.08

長時間労働に関する情報 (SOMPOホールディングス)					
項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
時間外労働比率	%	10.4	11.2	11.3	10.8

SOMPOホールディングス
サステナビリティ レポート 2024
イントロダクション
SOMPOのサステナビリティ
SOMPOの価値創造の全体像
環境
社会
DEI(Diversity, Equity & Inclusion)
人材育成
人権
健康経営
金融包摂・あらゆる人々やリスクに 対する保険普及
防災・減災(自然災害への社会の レジリエンス向上)
安心・安全なモビリティ社会への貢献
健康寿命の延伸
持続可能な社会保障制度への貢献
お客さまサービスの品質向上
社会貢献活動
社会福祉の「活動と研究」を支える取り組み
文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ の貢献
ガバナンス
データ等



健康経営

社外からの評価

活動・実績

当社は、健康経営に優れた企業として経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営優良法人2024」に8年連続で選定されました。

また、当社グループの21社が、経済産業省および日本健康会議が運営する健康経営優良法人認定制度において、「健康経営優良法人2024大規模法人部門」および「健康経営優良法人2024中小規模法人部門」に認定され、そのうち8社が「健康経営優良法人2024大規模法人部門(ホワイト500)」、1社が「健康経営優良法人2024中小規模法人部門(ブライツ500)」に認定されました。

[PDF](#) 詳細は[社外からの評価](#)(P.151)をご参照ください。

SOMPOホールディングス
サステナビリティ レポート 2024
イントロダクション
SOMPOのサステナビリティ
SOMPOの価値創造の全体像
環境
社会
DEI(Diversity, Equity & Inclusion)
人材育成
人権
健康経営
金融包摂・あらゆる人々やリスクに 対する保険普及
防災・減災(自然災害への社会の レジリエンス向上)
安心・安全なモビリティ社会への貢献
健康寿命の延伸
持続可能な社会保障制度への貢献
お客さまサービスの品質向上
社会貢献活動
社会福祉の「活動と研究」を支える取り組み
文化・芸術を通じたコミュニティ・社会への 貢献
ガバナンス
データ等



金融包摂・あらゆる人々やリスクに対する保険普及

基本的な考え方

考え方・方針

金融包摂(ファイナンシャル・インクルージョン)とは、貧困や差別などによって金融サービスから取り残され、経済的に不安定な状況にある人々が基本的な金融サービスへアクセスできるよう支援することを意味します。

当社グループはあらゆる人々が安心・安全・健康に過ごせる社会を目指し、新興国・途上国の経済発展支援や、人々の生活水準の向上に資する商品・サービスの開発・提供に努めています。

あらゆる人々への保険普及の取組み

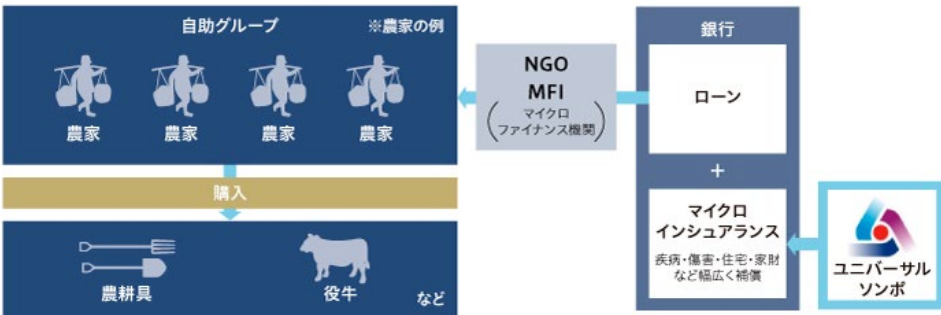
活動・実績

インドにおけるマイクロインシュアランス～農村地域の貧困改善と自立支援に貢献～

2008年より、グループのインド現地法人であるUniversal Sompo General Insurance (USGI)は、融資返済能力や医療・健康への備えに乏しいlower income group(低所得者層)に対する、マイクロインシュアランス(小規模保険サービス)を提供しています。

USGIは農村地帯を中心に、経済基盤の脆弱な農業従事者向けの家畜保険、農業従事者向けパッケージ保険、傷害保険などの商品を販売しているほか、銀行などによるマイクロファイナンス(低所得者向けの金融)の融資と組み合わせ、5大疾病をカバーする医療保険を提供しています。これらの保険料は、いずれも低廉に設定されています。USGIは基礎的な社会保障サービスの1つとしての保険制度を、インド社会の低所得層にも普及させることを通じて、自立支援に寄与し、持続可能な発展に貢献しています。

マイクロインシュアランスの仕組み



出産前後の女性を支援するための保険制度

損保ジャパンでは、一般社団法人ドゥーラ協会と連携し、2013年2月から出産前後の女性をケアする専門家(ドゥーラ)が、業務に起因して法律上の損害賠償責任を負った場合に、その損害を補償する『ドゥーラ賠償責任保険制度』を開始しました。近年、産前・産後の母親が育児に関する周囲の支援を受けることが困難な環境にあり、本件は、そのような環境を実際に経験した女性社員の声を発端としています。2019年12月6日、「母子保健法の一部を改正する法律」が公布され、今後ますます社会的にも需要の拡大が見込まれる「ドゥーラ」の普及を、損保ジャパンは本制度を通じて支援していきます。

不妊治療と仕事の両立を支援するための保険制度

損保ジャパンでは、多様な働き方を推進する企業などの従業員への福利厚生を下支えする「不妊治療と仕事の両立支援プラン」を提供しています。

日本では、晩婚化、晩産化などを背景に不妊治療を受ける夫婦が増加しています。高額な費用がかかる不妊治療は2022年から公的医療保険の適用対象となり、治療が受けやすい環境になりましたが、依然として経済的負担は発生します。

そこで、不妊治療を受けている従業員およびその配偶者に対する福利厚生の下支えとして「不妊治療と仕事の両立支援プラン」の普及に努めることにより、従業員が働きやすい社会の実現を後押ししていきます。

金融包摂・あらゆる人々やリスクに対する保険普及

あらゆるリスクに備える保険普及の取組み

活動・実績

当社グループの少額短期保険会社Mysurance（マイシュアランス）では、デジタルの力で「保険に新しい価値を」「お客さまに新しい体験を」「そして、世の中をもっとスマートに」というミッションのもと、商品の企画・開発・販売に取り組んでいます。

社会や環境の変化、新たなお客さまニーズに応える商品をスピーディーに創り、あらゆるリスクに対する備えを提供しています。

旅行予約を後押しする、デジタル完結型商品『キャンセル保険』

先日付の旅行や高額な旅行予約に対する不安からお客さまを守り、万ーキャンセルした場合には保険金額を限度にキャンセル料の全額を補償しています。

楽しい旅行をキャンセルすると、行けなくて残念という気持ちとキャンセル料という金銭負担が重くのしかかり、次の旅行予約につながりにくいネガティブな体験となってしまいます。

こうした背景から、次の旅行予約につながるポジティブな体験に変えたいという想いのもと、宿泊や航空券など幅広い旅行予約を対象とする国内旅行向けのTravelキャンセル保険、海外旅行向けの海外旅行キャンセル保険を展開しています。2024年5月末現在、多くのお客さまから支持を受け、加入件数は55万件を突破しました。

オンラインで旅行を販売するパートナーの皆さまからは、キャンセル保険が旅行予約サイトに組み込まれることによって、お客さまが安心して早期旅行予約できる環境の提供につながり、結果として「旅行予約自体の成約率が高まった」という事象が発生したことを受け、感謝されています。

ご加入いただいたお客さまからの声

- 保険があったので安心して予約ができました。
- 子どもの急な発熱で、直前キャンセルせざるを得ず非常に助かりました。

スマホ保険の提供を通じた各種課題解決

私たちの生活になくてはならないスマホ。一方で物価高の影響から端末価格が高騰し、壊れたことを理由に簡単に買い替えられない時代となり、「修理して長く使い続ける」という行動変容が起きています。こうしたなか、スマホを使う人に充実した補償を、月々ワンコイン以下で提供しているのがMysuranceの『スマホ保険』です。

学生の方を対象とした『学生スマホ保険』には、万が一SNSトラブルに巻き込まれてしまったときに無料で法律相談できるサービスを付帯しています。スマホは利便性が高い一方で、SNSトラブルなどの社会課題も顕在化しており、お客さまが安心してスマホを利用できる社会の実現を目指しています。

さらに、お子さまに初めてスマホを持たせる際、親子で確認すべき内容をまとめたリテラシー教材を無償で提供しており、スマホの安心・安全な使い方やご家庭のルールを考え直すきっかけとして広く活用いただいています。

ご加入いただいたお客さまからの声

- スマホの修理費用は高額なため、毎月500円程度で安心してスマホを使えると思うと気が楽です。
- 子どもに使わせるので、ちゃんと補償がついているようで安心です。学生プランのトラブル補償もよいです。

SOMPOホールディングス

サステナビリティ レポート 2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人材育成

人権

健康経営

**金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及**

防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み
文化・芸術を通じたコミュニティ・社会への
貢献

ガバナンス

データ等

サステナビリティ レポート 2024

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及

**防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)**

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

防災・減災（自然災害への社会のレジリエンス向上）

商品・サービスを通じた防災・減災への貢献

活動・実績

防災・減災のプラットフォーム型ソリューション『SORAレジリエンス』

『SORAレジリエンス』は、リスクに関する知見を持つSOMPOリスクマネジメント、保険に関する知見を持つ損保ジャパン、そして気象データおよびその解析力を持つ株式会社ウェザーニューズが共同で開発した防災・減災のプラットフォーム型ソリューションです。

昨今、気候変動リスクの高まりが世界で注目されています。気候変動に関する政府間パネルの報告では、気温上昇に伴った極端な大雨などの気象災害の発生確率が今まで以上に増加すると想定されており、私たちを取り巻く自然災害の脅威も年々高まりつつあります。

一方で、台風進路予測や気象に係る数値予報の精度は年々向上しており、予報情報を参考に、より効果的な防災・減災行動を選択することができます。また、地震のように予測が困難な災害が発生したときであっても、素早く情報を集めて意思決定し、行動に移すことが、レジリエントな組織運営には不可欠です。これらの情報収集・管理に貢献できるプラットフォームが『SORAレジリエンス』です。

『SORAレジリエンス』は、①多様なリスク情報を、リアルタイムかつ簡単に把握できる。②拠点のリスクが最大72時間先まで予測でき、「いつ」「どの拠点」に対応が必要かを検討できる。③機会の少ない災害対応においても円滑に操作できる。これら3つのコンセプトをもとに開発し、幅広い業種のお客さまにご利用いただいています。

2024年度には、国内外に拠点を持つお客さまのニーズにお応えべく、海外の地震情報や、各地のリスク情報をお届けするグローバルアラートといった機能を提供開始しました。SORAレジリエンスは、今まで以上にお客さまの防災・減災に貢献できるプラットフォームとなるべく、今後も進化を続けます。



『SORAレジリエンス』サービス画面イメージ



©Mapbox ©OpenStreetMap

自然災害リスクからお客さまを守る総合的ハザードマップサービス

『THE すまいのハザードマップ』

損保ジャパンは、公的機関などが開示するハザードマップに損保ジャパンの保険金支払実績データを加えたオリジナルのハザードマップ『THE すまいのハザードマップ』を開発・提供しています。

主な機能・特長として、①お客さまの住所ごとのリスク判定・表示、②自然災害のリスクが具体的にイメージできる災害や事故事例の表示、③避難場所・施設情報や補償内容のおすすめ表示が可能です。

本サービスは、損保ジャパンの代理店がお客さまへ、火災保険・地震保険のご提案時や更新のタイミングなどにご案内する情報提供ツールであり、お客さまご自身がお住まいの地域の自然災害のリスクを正しく理解していただくことで、加入される保険に対する納得感のさらなる向上を図ることを目的としています。



①お客さまの住所ごとのリスク判定・表示



②災害や事故事例の表示



③避難場所・施設情報や補償内容のおすすめ表示

防災・減災（自然災害への社会のレジリエンス向上）

企業・地方公共団体向けの事業継続および防災・減災に関わる支援

SOMPOリスクマネジメントでは、企業・地方公共団体向けの事業継続および防災・減災に関わる支援も提供しています。

企業など向け

東日本大震災などの自然災害や新型コロナウイルス感染症を経て、企業の防災・減災、事業継続の取り組みは、多様なリスクを想定したBCPの策定、さまざまなケースを想定した実効性向上のための教育・訓練の実施、働き方改革に対応した防災減災・事業継続体制の構築といった段階に移行しています。SOMPOリスクマネジメントでは、従来のコンサルティングサービスに加え、オールハザードアプローチによるBCP策定、課題・ニーズにあわせた多様な研修・訓練の企画・実施、災害対策本部運営キット『HONBUくん』やオンライン型訓練『STG(災害対応ゲーム)-DX』の提供をはじめとしたメニューを通じて、さまざまなお悩みを抱える企業を総合的にサポートしています。

地方公共団体など向け

地方公共団体は、相次ぐ大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症のほか、弾道ミサイルの発射事案などさまざまな危機から住民の命などを守るために対応計画を策定し、危機対応力の向上に向けた教育・訓練を実施することが求められています。

SOMPOリスクマネジメントでは、計画・マニュアルの策定（地域防災計画、業務継続計画、受援計画、国土強靱化地域計画、国民保護計画など）、教育・訓練の企画・運営、帰宅困難者対策協議会の運営、災害対策などに関する調査・研究などを通じて、災害や危機に強いまちづくりをサポートしています。

PDF 関連情報は[気候変動関連の取り組み\(気候変動への「適応」](#)) (P.49-50)をご参照ください

広域災害対応（火災保険）のDX

活動・実績

損保ジャパンでは、2022年3月16日に発生した福島県沖地震をきっかけに、Palantir Technologies Japan株式会社（以下「Palantir」）と株式会社ABEJAの3社で大規模自然災害発生時の業務オペレーションの改善を目的とした「災害対応プロジェクト」を2022年4月に組成し、大規模自然災害の事故・保険金データの収集・統合と、アプリケーションの構築を開始しました。保険金支払業務のDXによりオペレーションを大幅に効率化させ、早期の保険金支払いにつなげています。

これまでは、損害調査に必要な情報が複数のシステムに分散しているために要する書類の印刷や仕分けの手間、お客さま宅をお伺いするための差配管理業務など多くの労力と時間が必要でしたが、PalantirのプラットフォームであるFoundryで散在するデータを1か所に収集・統合したうえで業務プロセスにあわせて再構築し、開発したアプリケーションで活用することにより、業務の効率化を実現しています。

能登半島地震では石川県、富山県、新潟県に災害対策本部を設置し、Foundryを活用したことにより、2024年1月の発災以降4か月で被害のご連絡をいただいたお客さまのうち9割以上のお客さまに対して保険金のお支払いを完了することができました。

今後も本アプリケーションを活用することで、お客さまへ早期の保険金支払いを実現していきます。

SOMPOホールディングス
サステナビリティ レポート 2024
イントロダクション
SOMPOのサステナビリティ
SOMPOの価値創造の全体像
環境
社会
DEI(Diversity, Equity & Inclusion)
人材育成
人権
健康経営
金融包摂・あらゆる人々やリスクに対する保険普及
防災・減災(自然災害への社会の レジリエンス向上)
安心・安全なモビリティ社会への貢献
健康寿命の延伸
持続可能な社会保障制度への貢献
お客さまサービスの品質向上
社会貢献活動
社会福祉の「活動と研究」を支える取り組み
文化・芸術を通じたコミュニティ・社会への貢献
ガバナンス
データ等

SOMPOホールディングス
サステナビリティ レポート 2024
イントロダクション
SOMPOのサステナビリティ
SOMPOの価値創造の全体像
環境
社会
DEI(Diversity, Equity & Inclusion)
人材育成
人権
健康経営
金融包摂・あらゆる人々やリスクに 対する保険普及
防災・減災(自然災害への社会の レジリエンス向上)
安心・安全なモビリティ社会への貢献
健康寿命の延伸
持続可能な社会保障制度への貢献
お客さまサービスの品質向上
社会貢献活動
社会福祉の「活動と研究」を支える取組み
文化・芸術を通じたコミュニティ・社会への 貢献
ガバナンス
データ等

安心・安全なモビリティ社会への貢献

デジタル技術を活用した安全運転支援

活動・実績

テレマティクス保険・サービスの開発

損保ジャパンでは、テレマティクス技術を活用した安全運転支援やドライバーの保険料負担軽減を目指した研究・開発を重ね、現在『Driving!』*1、『SOMPO Drive』、『スマイリング ロード』*2を提供しています。

*1 『Driving!』は「ドライブレコーダーによる事故発生時の通知などに関する特約」にセットされるサービスの名称です。
*2 ドライブレコーダーを活用した事業社向け事故防止サービスです。2015年3月に損害保険業界初のテレマティクスサービスとしてリリースし、2022年7月にドライブレコーダー・サービスのリニューアルを行いました。

ドライブレコーダーを活用した個人向け安全運転支援サービス『Driving!』

損保ジャパンでは、万が一の事故の場合でもお客さまの不安解消に努めることや、未然に防げたはずの車の事故を減らすことが損害保険会社の使命と考え、2018年から個人向け自動車保険付帯テレマティクスサービス『Driving!』の提供を開始しました。

その後、世代を問わずあおり運転が社会問題となり、お客さまにより大きな安心を提供するため2021年9月にドライブレコーダー端末のリニューアルを行いました。ドライブレコーダーの映像の活用により、迅速かつ納得感のある保険金支払いの実現につながっており、累計販売台数は31万台を超えました。

『Driving!』は、「安全運転支援機能」を搭載した通信機能付き専用ドライブレコーダーにより運転中の安心をご提供し、運転後は「安全運転診断」などにより運転技術のセルフメンテナンスをサポートします。また、通信機能付きの特長を活かした保険会社と直接“つながる”ことで実現可能なドライブレコーダーの衝撃検知を活用した「事故時通報機能」や国内大手損害保険会社で初めてとなるALSOKと連携した『ALSOKかけつけ安心サービス』をご提供し、安心・安全なカーライフをトータルサポートします。

損保ジャパンは今後もデジタル技術を活用し、すべてのドライバーにさらなる安心・安全を提供し、「事故のない社会」実現の一助となることを目指します。

『Driving!』の主な機能

01

もしもの時の **事故対応サポート**
万が一の事故時には、自動通報、手動通報に加え「ALSOKかけつけ安心サービス」で安心を提供。
事故現場の安全確保や救急車の手配などをお客さまに代わって対応します。
(注)「ALSOKかけつけ安心サービス」は、お客さまが必要とした場合にご利用いただけます。

02

安全運転の **サポート機能**
高性能ドライブレコーダーを使用した安全運転のサポート機能。
事故を未然に回避または軽減するために画面表示と警告音で注意喚起。

03

運転力を **データで見える化**
運転特性などを分析し、専用スマホアプリで運転診断レポートを表示。運転特性スコア[®]が80点以上である場合は翌年度の自動車保険料を5%割引く走行特性割引が適用されます。
※当社が定める走行情報等のデータにもとづき算出したスコアです。

法人・個人事業主さま向け安全運転支援サービス『スマイリングロード』

損保ジャパンでは、法人・個人事業主向けに通信機能付きドライブレコーダーを貸与し、そこから得られる走行データを分析する先進技術を活用した安全運転支援サービスである『スマイリングロード』を提供しています。具体的には、「みえる」「わかる」「ほめる」3つの機能で安全運転管理者のパソコンやドライバーのスマートフォンに安全運転診断や危険運転などの情報をフィードバックし、ドライバーの安全運転への意識向上や安全運転管理者の効率的な指導を支援します。

また、万が一の事故時には、ドライブレコーダーの通信機能により衝撃の検知や車の位置情報などを管理者へ通知することで事故状況を即座に把握でき、当社への迅速な事故連絡や早期の事故解決が可能になります。2015年3月に発売を開始し、2022年7月に端末・サービスのリニューアルを実施、2024年2月時点で延べ約6,200社で約23.8万台のお客さまにご導入いただいています。

サステナビリティ レポート 2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人材育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)**安心・安全なモビリティ社会への貢献**

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

ガバナンス

データ等

：三

安心・安全なモビリティ社会への貢献

『ALSOK事故現場安心サポート』の提供

セゾン自動車火災保険は、お客さまから事故のご一報を受けた際に、ALSOK隊員が事故現場にかけつる『ALSOK事故現場安心サポート』を提供しています。二次災害防止のための安全確保や、お客さま・事故相手などに損害・被害が認められる際の救急車の手配、事故相手とのトラブルを防ぐための適切なアドバイスなどを行っています。『ALSOK事故現場安心サポート』の2023年度におけるサービス満足度は89.4%と、お客さまから高い評価をいただきました。

『運転の人間ドック』構想の実現を目指して、共同研究を開始

損保ジャパンは、高齢ドライバーやペーパードライバーの増加、ドライバー不足、移動弱者の増加などの交通問題に対応するため、データドリブンな運転評価に基づく新ソリューションの開発を目指し、AI教習所株式会社と共同研究契約を締結しました。

近年では、高齢ドライバーによる交通事故の増加に対する法令対応が進められているものの、高齢ドライバーに限らず広く交通事故を防ぐためには、運転者が自身の認知機能や運転技能の状態を把握し、効率的でパーソナライズ化されたトレーニングを行うことが重要です。

これらの課題を解決するため、テレマティクス技術を活用した安全運転支援サービスを展開する損保ジャパンと、自動運転技術とAIを活用してより質の高い運転教育を目指すAI教習所は、両者が持つデータやノウハウを共有することで、精度の高い運転診断手法と、行動変容へつながる効果的なトレーニング手法の開発を目指します。

自動運転に対応した新たな保険の提供

活動・実績

『自動運転専用保険(実証実験向けオーダーメイド型)』サービスの開発

「自動運転」は、交通事故の削減や環境負荷の軽減など社会的課題に対する解決手段としての期待が高く、技術開発と社会受容性の両面において、産官学あがての実証実験が活発化しています。

損保ジャパンは、これまで蓄積した保険設計ノウハウを活かし、自動運転の実証実験における多種多様なリスクに対応した専用保険『自動運転専用保険(実証実験向けオーダーメイド型)』を開発し、提供しています。

当商品は、自動運転に関わるさまざまなリスクを包括的に補償する「自動運転専用保険」、SOMPOリスクマネジメントによる「リスクコンサルティング」、最新のIoT技術を活用した独自の走行データ分析による快適な自動運転の実現を支援する「専用サービス」から構成されます。

一例として、システムの不具合などが発生した場合に自動運転の技術を提供する車両開発事業者に損害賠償義務が生じる可能性があります、その原因を特定するのに時間がかかるだけでなく、賠償リスクを負うことで車両開発を敬遠するケースも想定されます。

このような場合に、安心して自動運転技術の開発を行っていただくために車両開発事業者間の過失割合の協議を不要とする「自動運転車両開発事業者等被保険者追加特約」を新設し、本特約の被保険者である開発事業者に対して求償を行わないこととしました。これにより、自動運転実施事業者が抱える課題の解消を図ります。

SOMPOホールディングス

サステナビリティ
レポート
2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人材育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及

防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

ガバナンス

データ等



安心・安全なモビリティ社会への貢献

自動運転車に対応した新たな補償の提供

現在実用化されている自動運転機能は、運転者自身が運転することを前提とした「運転支援技術」であり、事故が発生した場合には原則として運転者が責任を負うものとされています。そのため、現時点では、運転者が法律上の損害賠償責任を負う可能性が高く、大半のケースにおいては現行の対人賠償責任保険と対物賠償責任保険で保険金をお支払いすることが可能です。しかし、昨今の技術進展の早さやサイバー攻撃の増加などを背景にリスクが多様化していることから、運転者の損害賠償責任の有無が明らかでなくその確定に時間を要するケースが想定されます。

このような場合において、自動運転技術を搭載した自動車やコネクテッドカーを利用する運転者に引き続き安心を提供し、迅速な被害者救済と事故の早期円満解決を図るため、運転者に損害賠償責任がない場合でも保険金をお支払いする「被害者救済費用特約(自動セット)」を新設しました。

さらに、システムの不具合や第三者の不正アクセスなどによる事故でお客さまに過失がない場合には、お客さまの自動車保険の継続契約の等級に影響しないようにする「無過失事故の特則(車両保険に自動セット)」を改定しました。

自動運転サービスの社会実装に向けたソリューション

『SOMPO ALCS*1』の提供開始

損保ジャパンは、SOMPOリスクマネジメント、SOMPOビジネスソリューションズ、プライムアシスタンスとともに、2024年4月より、自治体や交通事業者をサポートするためのパッケージソリューション『SOMPO ALCS』の提供を開始しました。

これまでの実証実験*2による知見を活用し、グループ会社と自動運転走行開始前の計画段階から、自動走行開始後のアフターサービスまで、総合的なサポートを提供することで、「事故トラブルが発生した際にだれがどのように対応するか」、「自動運転車両を整備できる工場をどのように確保するか」などの自動運転サービスの実装における課題解決に貢献し、安心・安全な自動運転サービスの実装を支援します。

*1 ALCSは、Autonomous, Level4, Comprehensive Supportの略語です。

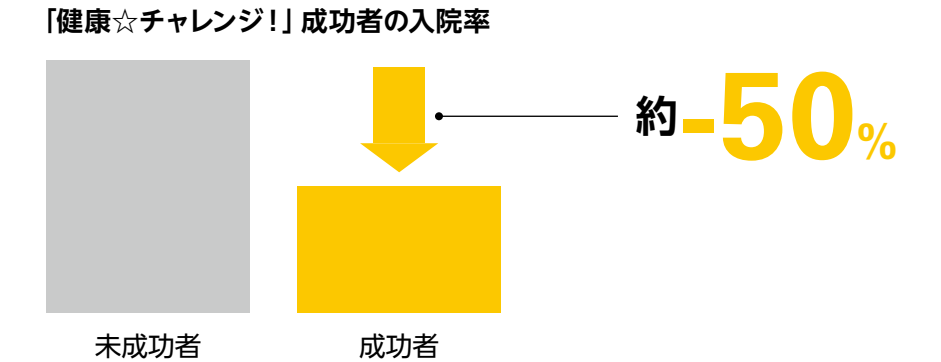
*2 損保ジャパンは、これまでに120回以上の実証実験に参画し、「自動運転リスクアセスメント」「コネクテッドサポートセンター」「自動運転専用保険(実証実験向け)」をパッケージ化したインシュアテックソリューション『Level IV Discovery』の提供を通じて、自動運転の安心・安全な導入を支援してきました。

健康寿命の延伸

保険商品を通じた取組み

活動・実績

SOMPOひまわり生命は、「健康応援企業」として、お客さまの豊かな人生と夢の実現をサポートし、自分らしい人生を過ごせる社会を実現することを目指しています。目指す姿に向け、健康を軸とした革新的な保険商品や、アプリを中心とした健康関連サービスを多くのお客さまにお届けし、お客さまが健康に向かう行動変容を応援することに取り組んでいます。これまでの取組みにより、保険と健康関連サービスのご利用者は500万人を突破し着実に増加しています。そのなかで、お客さまの行動変容を応援するサービスの一つである「健康☆チャレンジ!」では、チャレンジ成功者が未成功者に比べ入院率が低いといった健康応援の実績も見えてきています。2024年度から新たにスタートした中期経営計画において、当社の取組みを加速させ、社会課題解決である健康寿命の延伸に貢献し、SOMPOウェルビーイングの掲げる3つの「不」の解消に寄与していきます。



※入院率は「健康☆チャレンジ!制度」にチャレンジ可能、かつ調査期間開始時点で有効な2018年度～2019年度契約を対象として、調査期間中の支払実績に基づき算出。％は未成功者入院率を100とした場合

※「成功」および「未成功」の分類、および調査期間は以下のとおり。

2018年度契約：2021年3月末の成功状況に基づき、2021年4月～2023年3月の支払実績を調査

2019年度契約：2022年3月末の成功状況に基づき、2022年4月～2023年3月の支払実績を調査

※入院の支払実績は、対象契約の被保険者と同一の被保険者が加入している医療保険契約における、当社の定める七大生活習慣病に該当する傷病による支払いを集計

Insurhealth®商品の提供

保険本来の機能(Insurance)に健康を応援する機能(Healthcare)を組み合わせた、従来にない新たな価値「Insurhealth®(インシュアヘルス)」を提供しています。Insurhealth®商品は2018年の販売開始から累計販売件数が160万件を突破しており(2023年度末)、多くのお客さまからご好評をいただいています。新たにスタートした中期経営計画においても、Insurhealth®商品によるひまわりファン拡大を掲げており、引き続き多くのお客さまにInsurhealth®をお届けすることで「万が一」を可能な限りなくしていきたいと考えています。

【業界初】健康を応援する収入保障保険『じぶんと家族のお守り』

『じぶんと家族のお守り』の特徴として、「健康☆チャレンジ!」制度により、加入時から一定期間内に健康状態(禁煙、BMI、血圧)が改善されると、以降の保険料が安くなるとともに、加入時からの保険料差額相当額を健康チャレンジ祝金としてお受け取りいただくことができます。

『健康をサポートするがん保険 勇気のお守り』

『健康をサポートするがん保険 勇気のお守り』は、禁煙による保険料割引や生活習慣維持・改善アプリ利用推進による“予防”、がんリスク検査サービス提供による“早期発見”、社会保障制度や最新のがん治療の実態に対応した合理的な“保障”、がん患者さま向けサービス提供による“治療後のケア”により、がんをトータルにサポートする「新しいがん保険のカタチ」を実現しました。

『健康をサポートする変額保険 将来のお守り』

『健康をサポートする変額保険 将来のお守り』は、万が一の死亡保障に加え、現役世代の資産形成を行ううえで大きなリスクとなる就労不能や介護などの「働けない」状態を手厚く保障しています。さらにお客さまの健康状態に応じて資産形成の効果を高めることができる「健康積立金」の仕組み、保険料払込期間終了後も特別勘定での運用を継続できる第2保険期間など、業界初*となる仕組みを導入しています。

*2023年2月時点、SOMPOひまわり生命調べ。

SOMPOホールディングス
サステナビリティ レポート 2024
イントロダクション
SOMPOのサステナビリティ
SOMPOの価値創造の全体像
環境
社会
DEI(Diversity, Equity & Inclusion)
人材育成
人権
健康経営
金融包摂・あらゆる人々やリスクに 対する保険普及
防災・減災(自然災害への社会の レジリエンス向上)
安心・安全なモビリティ社会への貢献
健康寿命の延伸
持続可能な社会保障制度への貢献
お客さまサービスの品質向上
社会貢献活動
社会福祉の「活動と研究」を支える取組み
文化・芸術を通じたコミュニティ・社会への 貢献
ガバナンス
データ等



健康寿命の延伸

健康関連サービスの展開

ひまわりファンの健康に向かう行動変容を応援するためにさまざまなヘルスケアサービスを提供しています。歩くという健康行動支援や健康診断の読み取りといったライトなサービスから、女性の健康課題や生活習慣病向けのサービスと豊富なラインナップを取り揃えることで、より多くのひまわりファンの健康に向かう行動変容を応援してきました。

有償ヘルスケアサービス

『リンククロス 血糖コーチング』

生活習慣改善サポートサービス『リンククロス 血糖コーチング』は、健康診断などでは知ることのできない日常生活における血糖値の変化を「持続型血糖測定器」を装着することで把握し、原因や改善方法を知ることができるサービスです。自身の生活習慣と血糖変動の関係に気づきを得ることで、能動的な生活習慣改善の行動に導きます。

【業界初】女性のライフデザイン支援サービス『リンククロス ライフイズ』

『リンククロス ライフイズ』はFemtech(フェムテック)領域における業界初^{*1}の有償ヘルスケアサービスです。

「生理」「将来の妊娠」「更年期」の健康課題は、ホルモンの変動とともに仕事のパフォーマンスやライフデザインに密接に関係しています。ホルモンが女性の人生に与える影響について理解を促し、改善策を提示することによって、不調や悩みの解決に導きます。

働く女性従業員の健康やキャリア面などの悩みを紐解いて、それぞれの女性が理想とするライフデザインを支援することで、企業全体のパフォーマンス向上につなげます。

^{*1} 2022年8月時点。SOMPOひまわり生命調べ

健康関連アプリ

健康サポートアプリ『リンククロス 健康トライ』

『リンククロス 健康トライ』は、ご契約有無にかかわらず、すべての方に無料でご利用いただける、生活習慣の改善をサポートするアプリです。健康診断結果をカメラで撮影するだけで6年後の異常値予測ができ、さらに、簡単な問診を追加するだけで、似た条件の人が5年以内にがんを発症するリスク^{*2}がわかります。また、毎日の気分や体調にあわせ、健康活動(アクション)をご提案します。アクションカードに沿って健康活動をすることで、病気になりにくい生活習慣を身につけることができます。

^{*2} がんリスクシミュレーターは、入力データに基づきがんの発症リスクを予測するものであり、診断行為、診療行為および治療行為を提供するものではありません。

継続的な散歩で健康増進を図るアプリ『リンククロス アルク』

『リンククロス アルク』は、「毎日」「無理なく」「楽しく」歩くことを目的とした散歩アプリです。散歩中の発見を写真やコメントで共有したり、全国1,000コース以上のおすすめ散歩コースから選んで歩くことができます。また、端末を持ち歩くだけで、歩数や消費カロリー、距離を記録できます。継続的な歩行を促すことで、健康促進を図るアプリです。

お客さまの手のひらにInsurhealth®をお届けするアプリ『MYひまわり』

2024年9月に新たに『MYひまわり』をリリースします。「見える」「つながる」「変えられる」の3つの体験からお客さまの安心・安全・健康をお届けするアプリです。

Insurhealth®商品にご加入いただいているお客さまだけでなく、500万人を超えるすべてのひまわりファンの方に無料でご利用いただける、まさに保険と健康を一体とした総合応援アプリであり、ご自身のリスクと備え・健康状態をワンストップで確認できます。また、お客さまが健康行動(健康維持・改善に向けた行動)に取り組むための提案や習慣化を促すポイントプログラム^{*3}も導入し、社会課題である健康寿命の延伸へ貢献していきます。

^{*3} ポイントプログラム利用には条件があります。アプリ内にあるポイント詳細ページおよび利用規約をご確認ください。

SOMPOホールディングス

**サステナビリティ
レポート
2024**

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI (Diversity, Equity & Inclusion)

人材育成

人權

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及

防災・減災(自然災害への社会のレジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会への貢献

ガバナンス

データ等



健康寿命の延伸

ヘルスケアサービスを通じた、働く人の健康保持・増進への取り組み

活動・実績

特定保健指導事業において日本最大規模のサービスを提供

糖尿病や心筋梗塞など生活習慣病罹患者の増加と高齢化の進展による医療費など社会保障費の増大が社会的な課題となっています。こうした状況のなか、2008年度より健康保険組合などの公的医療保険者に対して、メタボリックシンドロームに着目した特定健診・特定保健指導が義務づけられ、2015年度からはデータヘルス計画として、レセプトや健診データの分析に基づく保健事業などの取組みが求められています。また、2024年度からの第4期医療費適正化計画の開始に伴い、特定保健指導へのアウトカム評価の導入やICTの活用等により、目標達成に向けた実施率の向上が図られるとともに、医療保険者からはさらなる効果的・効率的な取組みの実施が期待されています。

SOMPOヘルスサポートは、全国で1,000名以上の保健師・看護師・管理栄養士の専門職をネットワーク化し、特定保健指導事業においては日本で最大規模のサービス提供事業者となっています。SOMPOヘルスサポートのサービスを通じて、特定保健指導の対象者のうち約4割が翌年度には特定保健指導の対象外になるなどの改善例もあります。また、非肥満で血圧、血糖、脂質などのリスクのある方や、服薬中の方など、特定保健指導の対象とならない方に対する重症化予防事業や、情報提供事業を展開しており、健康保険組合や共済組合を中心に約640団体、年間約47万件の保健指導実績があります。

SOMPOヘルスサポートは、これからもFace to Faceで一人ひとりに合った健康サポートを提供することを基本とし、全国の専門職に独自の研修と技術支援を行い、より質の高いサービスを提供できる体制を整えていきます。

企業のメンタルヘルス対策、および健康経営推進支援サービスを提供

SOMPOヘルスサポートでは、コンサルタントと専門職であるOMC(産業保健メンタルヘルスコーディネーター)が、メンタルヘルス対策を中心とした産業保健体制の構築支援、不調者・休職者の対応、産業医の確保、ヘルスケア研修の企画・実施など、さまざまな業種のお客さまの課題を解決するためのサービスを提供しています。

また、ストレスチェックを用いた職場環境改善サービスのほか、プレゼンティーイズム*測定ツールである「WLQ-J」、「WFun」の提供も行っています。

さらに、企業の経営上の大きな課題である従業員の生産性確保を支援するため、「健康経営調査票作成支援」や「データ分析による健康課題の可視化」、およびその結果に対する「ソリューションサービスの提供」を通じて健康経営の推進を総合的に支援することにより、多くのヘルシーカンパニーの実現に貢献しています。

*何らかの疾患や症状を抱えながら出勤し、体調不良があるまま働いている状態

[illegible]

健康経営支援サービスメニュー一覧		ソリューションサービス
実施項目	サービス概要	
※項目：W0003「心労・心欠」への取り組み以上、①～④のうち3項目以上		
1. 経営者方針	経営者意識の醸成、経営方針の策定 経営者意識の醸成、経営方針の策定 経営者意識の醸成、経営方針の策定 経営者意識の醸成、経営方針の策定	経営者意識の醸成サービス 経営者意識の醸成サービス 経営者意識の醸成サービス 経営者意識の醸成サービス
2. 組織体制	組織体制の構築 組織体制の構築 組織体制の構築 組織体制の構築	組織体制構築サービス 組織体制構築サービス 組織体制構築サービス 組織体制構築サービス
従業員への意識啓蒙 従業員への意識啓蒙 従業員への意識啓蒙 従業員への意識啓蒙	従業員への意識啓蒙 従業員への意識啓蒙 従業員への意識啓蒙 従業員への意識啓蒙	従業員への意識啓蒙サービス 従業員への意識啓蒙サービス 従業員への意識啓蒙サービス 従業員への意識啓蒙サービス
3. 制度・施策の実行	制度・施策の実行 制度・施策の実行 制度・施策の実行 制度・施策の実行	制度・施策の実行サービス 制度・施策の実行サービス 制度・施策の実行サービス 制度・施策の実行サービス
4. 評価・改善	評価・改善 評価・改善 評価・改善 評価・改善	評価・改善サービス 評価・改善サービス 評価・改善サービス 評価・改善サービス
5. 効果測定・フィードバック	効果測定・フィードバック 効果測定・フィードバック 効果測定・フィードバック 効果測定・フィードバック	効果測定・フィードバックサービス 効果測定・フィードバックサービス 効果測定・フィードバックサービス 効果測定・フィードバックサービス

健康経営を目指す企業に本メニューに多数ご活用いただいております。※各サービス実施要項

当社健康経営コンサルティング導入企業様の認定取得率: **95%超**
 水戸150認定企業様の当社ソリューションサービスご採用率: **10%超**

企業コンサルティング部

TEL: 011-0063 東京都千代田区神田区淡路4-1-3
 〒113-0029 東京都千代田区神田区淡路4-1-3
 TEL: 03-209-8092

SOIMPOヘルスサポート株式会社

健康経営コンサルティング部

健康経営コンサルティングサービスのご案内

SOMPOホールディングス
サステナビリティ レポート 2024
イントロダクション
SOMPOのサステナビリティ
SOMPOの価値創造の全体像
環境
社会
DEI(Diversity, Equity & Inclusion)
人材育成
人権
健康経営
金融包摂・あらゆる人々やリスクに対する保険普及
防災・減災(自然災害への社会のレジリエンス向上)
安心・安全なモビリティ社会への貢献
健康寿命の延伸
持続可能な社会保障制度への貢献
お客さまサービスの品質向上
社会貢献活動
社会福祉の「活動と研究」を支える取組み
文化・芸術を通じたコミュニティ・社会への貢献
ガバナンス
データ等

健康寿命の延伸

腸内フローラを起点とする新しい花粉症セルフケア 腸内フローラ検査『マイキンソー Hana』を共同開発

SOMPOヘルスサポートは、腸内フローラ検査で実績のある株式会社サイキンソーと腸内フローラと花粉症の関連性について共同研究を実施、腸内環境の類似度から5つにタイプ分けして、それぞれのタイプごとに自分に合った生活習慣や食生活の改善アドバイスを提供することで、行動変容を促す新しい腸内フローラ検査&セルフケアプログラム『マイキンソー Hana』を開発しました。

プレゼンティーイズムに影響するアレルギーなどの疾患を腸内環境改善などで和らげられないかという観点でSOMPOグループの従業員282名を対象に腸内フローラ検査を実施し、花粉症の重症度のスコア化と生活習慣に関するアンケート内容から花粉症症状に寄与する生活習慣パターンを発見しました。

『マイキンソー Hana』は、医療保険者・企業・団体・会員向けに提供しており、企業には、「プレゼンティーイズムに影響している状態に気づきを促す」健康経営の推進施策、各種団体においては会員向けのサービス向上策、医療保険者においては医療費削減施策などにご活用いただいています。



『マイキンソー Hana』検査キット

SOMPOホールディングス

サステナビリティ
レポート
2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

ガバナンス

データ等

:三

健康寿命の延伸

グループをあげた認知症に関する課題への取組み
「SOMPO認知症サポートプログラム」

活動・実績

SOMPOグループは、「認知症に備える・なってもその人らしく生きられる社会」をスローガンに、2018年から「SOMPO認知症サポートプログラム」を展開しています。

Web 詳細は[SOMPO認知症サポートプログラム](#)をご参照ください。

サービスの開発・提供を通じた取組み

認知機能低下の抑制に有効なプログラム「SOMPOスマイル・エイジングプログラム」の開発

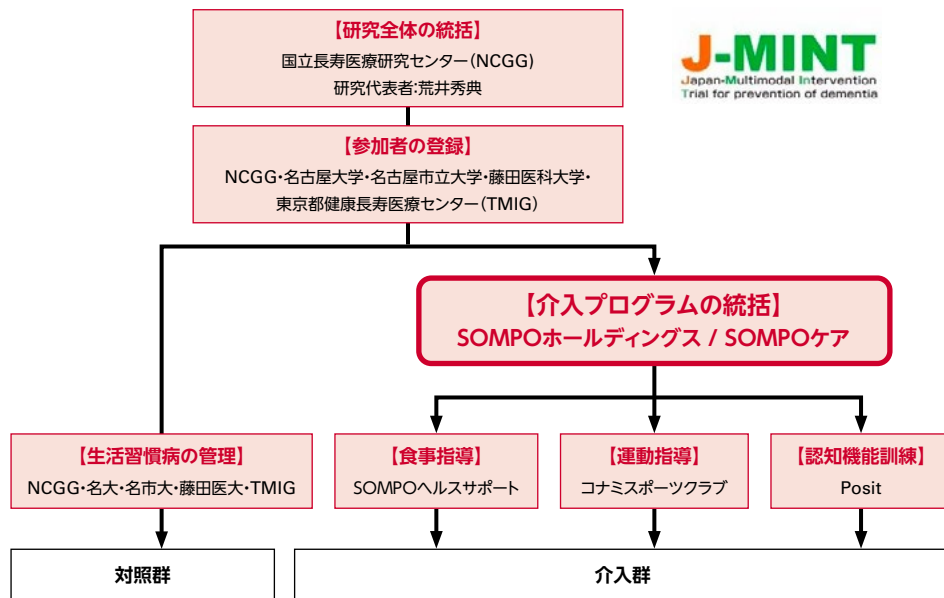
2020年に、FINGER研究を率いたカロリンスカ研究所のキビペルト教授、および国立長寿医療研究センターの監修のもと、高齢者の生活習慣改善を通じて認知機能低下を予防するプログラム「SOMPOスマイル・エイジングプログラム」を開発しました。キビペルト教授が公認する世界初の「FINGER研究の全国規模の社会実装プログラム」となります。現在、SOMPOケアでは、全国のサービス付き高齢者住宅(138か所)に対して本プログラムを導入し、毎週1,400名以上のご入居者さまが介護予防として参加されています。今後、本プログラムを全国に販売展開していくことで、日本における認知症発症リスクの減少と健康寿命の延伸を目指します。



「J-MINT研究(日本版FINGER研究)」への参画と結果公表

SOMPOグループは、2019年11月より開始された「J-MINT研究」に共同参画しており、2023年7月に国立研究開発法人国立長寿医療研究センターは、軽度認知障害を有する高齢者において、多因子介入プログラム(生活習慣病の管理、運動、栄養指導、認知トレーニング)が、認知機能の改善に有効であることを明らかにしました。

J-MINT研究の構成



「Alzheimer's & Dementia」(アルツハイマー病協会国際学術誌)への掲載

上記「J-MINT研究」の成果は、アルツハイマー病協会が発行する権威のある国際学術誌「Alzheimer's & Dementia」に掲載されました。

Web 詳細は[「Alzheimer's & Dementia」ホームページ\(英語ページ\)](#)をご参照ください。

SOMPOホールディングス

サステナビリティ
レポート
2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取り組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

ガバナンス

データ等

健康寿命の延伸

認知症理解に向けた取り組み

SOMPOグループは、認知症の方との共生社会の実現を推進するために必要な認知症に関する正しい知識や認知症の方に関する正しい理解を深めるためのさまざまな活動を行っています。

9月の世界アルツハイマー月間の取組み

「共に生きる 認知症を考えるセミナー」の開催

本セミナーの趣旨に賛同いただける方々の協力のもと、2017年から毎年「共に生きる 認知症を考えるセミナー」を、開催しています。2023年度も昨年度に引き続き「“Talk with”みんなで話そう」をコンセプトに開催し、3,000名を超える皆さまに参加いただきました。



損保ジャパン本社ビルを活用した認知症啓発メッセージの発信

2017年から認知症啓発・支援活動のテーマカラーであるオレンジ色を使ったイベントとして、毎年世界アルツハイマーデー当日である9月21日に、損保ジャパン本社ビルをオレンジ色にライトアップしています。



SOMPOグループ職員の認知症に関する正しい知識および正しい理解に向けた取組み

SOMPOグループ会社による認知症バリアフリー宣言

認知症の方やそのご家族が安心・安全・健康に暮らせる認知症バリアフリー社会の実現を目指し、グループ会社のバリアフリー宣言の策定を推進しています。

※2024年6月末時点で10社



職員向け社内講座を開催

京都府立医科大学大学院の成本迅教授を講師に迎え「認知症基本法成立に伴って期待される金融機関の役割」をテーマに、2023年8月社内講座を開催しました。

職員向け「SOMPOカフェ」(認知症カフェ)開催

認知症を身近に感じ認知症の方のご本人視点で理解するため、2023年8月に、損保ジャパン新宿本社ビル近隣の職員を中心に「SOMPOカフェ」(認知症カフェ)を開催しました。当日は、認知症当事者のさとうみきさんをお迎えして、さとうさんご自身のご経験を通じた想いや私たちに伝えたいことをお話しいただき、さとうさんとの質疑応答や参加者同士のディスカッションを行い、認知症への理解を深めました。



その他の取組み

「RUN伴」への協賛・参加

認知症の方やご家族、支援者、一般の方々がリレーをしながら、ひとつのタスキをつなぎゴールを目指すイベント「RUN伴」に協賛しており、各地の開催状況にあわせて、SOMPOグループの役職員もランナーとして参加しています。



認知症ケアのヒントが見つかるサイト『あんなこんな』の開設

SOMPOケアは、介護の知見を在宅介護の皆さまにお役立ていただきたいという思いから、自宅で認知症のある方を支える人を応援するサイトを提供しています。介護のあんな困りごとやこんな困りごとに対して、認知症ケアのプロの知見に基づく「介護の現場の知恵と工夫」を在宅の認知症ケアに活かしたヒントをご紹介します。『あんなこんな』は2020年にグッドデザイン賞を受賞しました。

Web 詳細は[あんなこんな](#)をご参照ください。



SOMPOホールディングス

サステナビリティ
レポート
2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人材育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

ガバナンス

データ等

持続可能な社会保障制度への貢献

SOMPOの介護事業が目指すこと

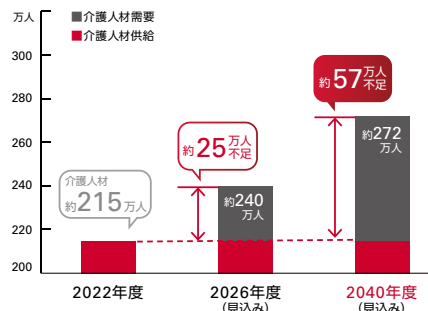
考え方・方針

少子高齢化が進む日本では、介護を提供する人・受ける人のバランスが大幅に崩れ、2040年には約57万人もの介護人材が不足するといわれています*。また、生産年齢人口が減少していることから、社会保障の行く末にも不安の声が高まっています。

SOMPOケアはこの介護人材の需給ギャップ拡大という社会課題に立ち向かうために、未来の介護の実現に挑み続けています。

*出典：厚生労働省「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について」(令和6年7月12日)

介護人材不足の推計



データとテクノロジーを活用したSOMPOのアプローチ

活動・実績

来るべき未来を変えていくためには、介護の現場を変えていくことが不可欠です。そして、その鍵を握るのが、データとテクノロジーの活用です。まずは、将来に向かって拡大していく介護人材の需給ギャップを見据え、日々の業務の品質を伴った徹底的な効率化を進めます。そのうえで、ご利用者さまにはエビデンスに基づく、より良い介護の提供を目指すとともに、職員には、人は人にしかできない介護に注力する働き方の実現を通じ、今まで以上のやりがいと誇りの醸成を目指します。さらに私たちは、この流れを介護業界全体へ波及させることで、介護の未来を変えていきます。

その実現にあたっては、SOMPOケアが介護サービス提供者として、NDソフトウェアが介護業務支援ソフトウェアの開発・提供者として、培ったノウハウやサービスを他の介護事業者提供していきます。介護記録データの見える化などの介護オペレーション変革のサポートを通じた品質を伴う生産性向上への貢献はその一例となります。

介護に関わるテクノロジーの研究所「Future Care Lab in Japan」

「人間とテクノロジーの共生による新しい介護のあり方を創造する」ことをミッションに、テクノロジーを活用し介護人材の需給ギャップ解消に取り組むラボでは、SOMPOケアの各現場のみならず、介護業界全体の発展に寄与することを目指し、介護を提供する人・受ける人の両方にとって魅力あるテクノロジーの実証と研究開発を行っています。

<目的>

- ご利用者さまのQOL(生活の質)向上
- 介護職の負担軽減、および働きやすさの向上
- 介護サービスの生産性向上

Web 詳細は[Future Care Lab in Japan／特設サイト](#)をご参照ください。

介護をサポートするさまざまなテクノロジーの実装



睡眠状態の把握・データ収集が可能な「睡眠測定センサー」



自動体位変換で床ずれなどを軽減するエアマットレス「ラグーナ」



ご利用者さまに寄り添う家族型ロボット「LOVOT」



ウルトラファインバブル発生装置「ピュアット」



身体全体をあたかく包み込むリクライニング式シャワー入浴装置「美浴」



自動式ラップ機構を搭載したオムツ回収ボックス「ラップポン・パケット」

サステナビリティ
レポート
2024

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人材育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及

防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

お客さまサービスの品質向上

損保ジャパンの取組み

活動・実績

お客さま本位の業務運営方針

損保ジャパンは、保険契約の保険料調整行為、および自動車保険金の不正請求における同社の不適切な対応につきまして、2023年度に金融庁から業務改善命令を受けました。

業務改善命令では、同社の経営管理(ガバナンス)態勢、企業文化などが指摘されました。これまでもお客さま本位の業務運営に取り組んでまいりましたが、お客さま視点の取組みが十分ではなかったことがこのたびの問題の発生を招いたと考え、改めて本方針を見直すとともに全役員・全社員が徹底してお客さまの立場で考えることで、再発防止・信頼回復に取り組んでまいります。

SOMPOグループは、「“安心・安全・健康”であふれる未来へ」というパーパスに基づき、多様なステークホルダーに向き合い、各事業を通じてさまざまな社会課題解決に取り組むことで、企業価値の向上に努めています。

当社は、上記パーパスに基づき、損害保険業務のあらゆるお客さま接点において、徹底したお客さま視点に基づくお客さま本位の業務運営を実現するとともに、すべてのステークホルダー*に対して企業としての社会的責任を果たすべく、本方針を定めます。

*お客さま、お取引先、株主、社員、地域社会などの利害関係者をいいます。

方針1. お客さま視点での業務遂行

方針2. お客さまのニーズに基づく商品・サービス等の開発

方針3. お客さまに最適な保険商品の提案

方針4. 適切かつ丁寧な保険金のお支払い

方針5. お客さま本位の業務運営方針の定着

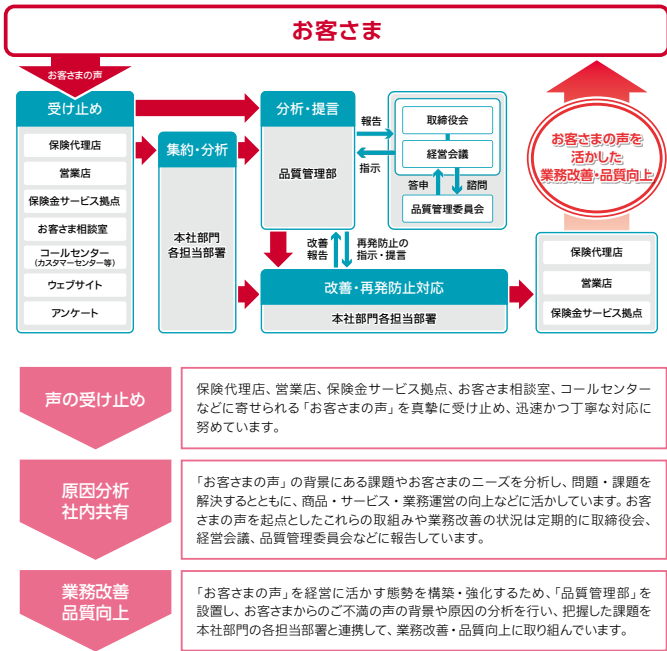
方針6. 利益相反の適切な管理

方針7. 企業としての社会的責任を果たす取組み

Web 詳細は[お客さま本位の業務運営方針／損保ジャパン公式Webサイト](#)をご参照ください。

お客さまの声を経営に活かす取組み

損保ジャパンは、お客さまから寄せられる「お客さまの声」を経営に活かすため、「お客さまの声」の傾向や内容を分析し、分析結果を本社部門で共有して、業務改善・品質向上に役立てています。



お客さまの声を活かした品質向上

損保ジャパンは、2007年度から毎年「お客さまの声白書」を発行し、同社にお寄せいただいた「お客さまの声」を経営に活かす取組みやお客さまの声からの改善事例などを、すべてのステークホルダーに公表しています。2024年度は、一連の問題に関してお客さまからいただいた声や業務改善に向けた取組み状況なども報告しています。

Web 詳細は[お客さまの声白書／損保ジャパン公式Webサイト](#)をご参照ください。



お客さまの声白書

SOMPOホールディングス

サステナビリティ
レポート
2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

ガバナンス

データ等

：三

お客さまサービスの品質向上

SOMPOひまわり生命の取組み

活動・実績

SOMPOひまわり生命はすべての価値判断をコンプライアンス・FD*に置き、お客さま本位で取り組むことを掲げています。

この取組みの実現に向け「お客さま本位の業務運営方針」を定め、生命保険を基盤にお客さまが健康になることを応援する「健康応援企業」としての存在意義を確立していきます。

*FD(Fiduciary Duty：フィデューシャリー・デューティー)：顧客本位の業務運営

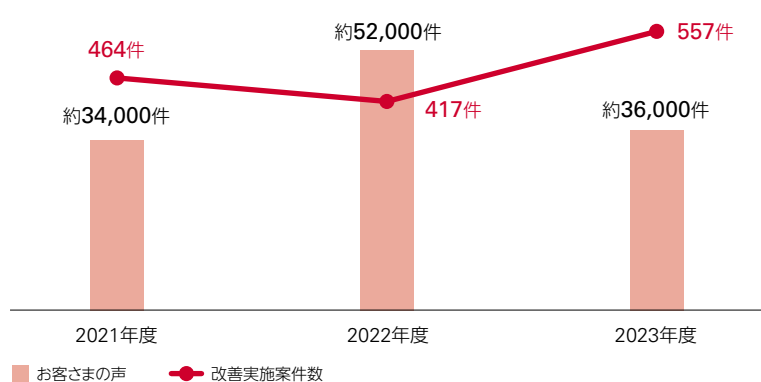
お客さま本位の業務運営の推進体制

取締役または執行役員の中から「FD推進統括責任者」を選任するとともに、本方針の推進責任を担う部門としてFD推進部を設置し、本方針の推進、定着、進化に向けて取り組んでいます。また、消費生活相談員や消費生活アドバイザー等の社外有識者からご意見などをいただく場としてFD社外モニター会議を設置し、定期的に開催しています。

お客さまの声を経営に活かす取組み

カスタマーセンター、ご相談窓口、アンケート、営業店、代理店などさまざまな経路を通じて、お客さまからの直接的な感謝、苦情、ご意見・ご要望等に加え、お客さま視点による社員からの提案等、お客さまの声を幅広く収集することに積極的に取り組んでいます。

お客さまの声の数、改善実施案件数



収集したお客さまの声は一元的に管理し、商品・サービスの開発、業務改善・品質向上やお客さまの利便性向上につなげ、お客さまの声を活かした改善に継続的に取り組んでいます。また、その改善事例を定期的に公式ウェブサイトなどで公表しています。

Web 詳細は[実施した改善取組みの事例／SOMPOひまわり生命公式Webサイト](#)をご参照ください。

代理店、募集人の業務品質向上

お客さまに適切に商品・サービスを提供する態勢を維持・強化するため、次の事項に重点を置いた各種研修・教育制度などを通じて、代理店と募集人の業務品質の向上を図っています。

- ①意向把握、重要事項説明、告知の取扱いなど保険募集に関する事項
 - ②お客さまへの最適な保障・サービスの継続的な提供(アフターフォロー)に関する事項
 - ③代理店自身の業務改善サイクル(代理店の内部管理態勢)の整備・強化に関する事項
- 具体的取組みとして、継続教育制度等を通じて、意向把握、重要事項説明、告知の取扱い、商品を選別・推奨する理由の適切な説明など保険募集に関する事項や、お客さまへのアフターフォローに関する事項などを教育することで、代理店、募集の業務品質の向上を図っています。

「HLアドバイザー®」の育成

「高いコンサルティング提案力」、「健康応援の実現(Insurhealth®*推進)」、「お客さま本位の業務運営」を兼ね備えた最高品質の募集人を「HLアドバイザー®」と定義し、お客さまに感動していただける募集人の育成を進めています。

「HLアドバイザー®」の認定基準には、Insurhealth®商品の販売件数等の販売基準だけでなく、ペーパーレス申込手続き率やFP資格保有状況などの品質基準も設定しており、2023年度(2024年3月末時点)は394名の募集人を「HLアドバイザー®」として認定し、認定盾と証券フォルダーを贈呈しました。

*Insurhealth®：SOMPOひまわり生命が提供する、保険本来の機能(Insurance)に、健康を応援する機能(Healthcare)を組み合わせた新たな価値。

SOMPOホールディングス

サステナビリティ
レポート
2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人材育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み
文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

ガバナンス

データ等

：三

お客さまサービスの品質向上

SOMPOケアの取組み

活動・実績

現場と同じ環境で学ぶ「SOMPOケア ユニバーシティ」

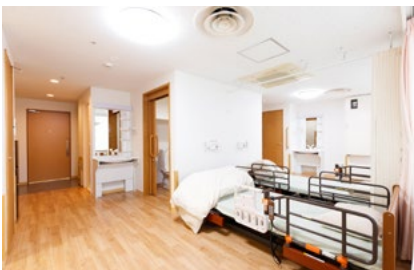
サービス品質の向上と人材定着の両立は、これからの介護を支えるうえでの重要な使命です。SOMPOケア ユニバーシティは、業界初の企業内大学として、中長期のキャリアプランに基づく教育体系により、全社的かつ継続的なスキルアップと働きがいの創出を図ります。現場を忠実に再現した環境で実技や理論を学べる芝浦キャンパス・大阪キャンパスに加えて、オンラインキャンパスを開校し、より一層、学びの場を充実させました。

実技と理論と一緒に学べる研修

同施設は、実技の習得スペースと座学スペースを備えた総合的な学びの場です。年次やスキルにあわせた研修の実施により、開設以来、新人からベテラン職員までスキルアップに励んでいます。

施設介護から在宅介護まで現場の環境を再現

主要ホームブランドと同じ個室や浴室、さらには段差が多くトイレの狭い和風家屋など、施設介護から在宅介護まで、現場ごとのリアルな環境を再現し、特に実技研修の要となるベッド・浴室・トイレなどは十分な数を確保しています。さらに、実技を多角的に見て学べる空間づくりにより、大人数の研修を効率的に運営しています。



全国いつでもどこでも学べる、オンラインキャンパスの開校

職員がいつでもどこでも学べる「オンラインキャンパス」を2023年7月に開校しました。研修項目が大幅に増え、「必修研修」「オープン型研修」「選択型ゼミナール」の3つを柱に、さまざまなジャンルの研修、社内イントラネットを活用することで遠隔地からのリアルタイムでの受講や、個人の端末からのアーカイブ動画の視聴が可能となり、地域や勤務形態に関係なく、全国の職員が等しく学ぶ機会を得られるようになりました。

介護品質を支える人材教育体系

介護人材の需給ギャップの拡大が深刻化するなか、人材の確保は介護事業者における課題の一つです。SOMPOケアでは、それぞれの段階にあわせた教育研修制度と希望にあわせて選べるキャリア体系を構築し、仕事に対する誇りを育む専門性の高い知識・スキルを浸透させるとともに、ずっと働きたくなる環境づくりに努めています。

職員一人ひとりをフォローする充実した教育体系

入社時研修に加えて、定期的なフォローアップ研修を実施しています。さらに、そのあとは目指すキャリアにあわせた研修により、中長期的なスキルアップとモチベーションの維持を図っています。

介護プライドマイスター制度

介護プライドを体現している象徴的なケアスタッフを選出・任命することを通して、介護プライドの見える化、ならびにケアスタッフとしての専門性や成長により誇りを持って働き続けられる環境を創出することを目的としています。2024年4月現在、169名がマイスターに認定されています。



認定基準

1. 介護プライドを持ち、成長したい意欲のある人物である
2. ①マインド②接遇③介護医療知識④技術に長けている人物である

選考方法

全国のケアスタッフの中から介護実践レポート審査・役員面談・グループディスカッションなどの選考により、介護プライドマイスターを選出



Web 詳細は[介護プライドマイスター制度／SOMPOケア公式Webサイト](#)をご参照ください。

SOMPOホールディングス

サステナビリティ
レポート
2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人材育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及

防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

ガバナンス

データ等

：三

社会貢献活動

基本的な考え方

考え方・方針

当社グループでは、企業として積極的に社会貢献活動に取り組んでいくとともに、社員が自主的に社会貢献活動に参画できるような意識醸成と制度面での支援を行っています。また、社会貢献活動の推進にあたっては、専門性の高いNPOとの連携・協働を重視しています。

社会貢献活動の全体像

体 制

当社グループの社会貢献方針は、2つの視点(企業の視点、社員一人ひとりの視点)で定めています。

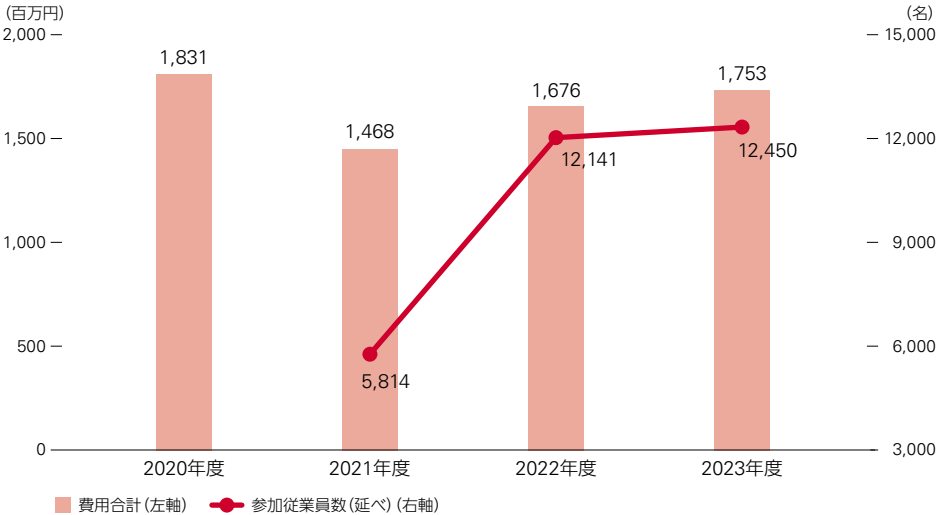
企業としては、次世代育成を意識した3つの分野(美術・福祉・環境)において、財団を中心に活動を展開し、社員一人ひとりの活動としては、当社グループ役職員がメンバーとなるボランティア組織「SOMPOちきゅう倶楽部」を中心に、積極的に取り組んでいます。

社会貢献関連費用および参加者

活動・実績

当社グループは、次世代育成を意識した3つの分野(美術・福祉・環境)を中心に活動を展開し、2023年度は社会貢献関連費用として17億5,266万円を支出しました。また、当社グループの延べ12,450名の従業員が社会貢献活動に参加しました。

社会貢献関連費用・参加従業員数(延べ) 推移



(参考)社会貢献活動への参加を促進する制度

ボランティア休暇

損保ジャパンでは、有給休暇とは別に、ボランティア休暇(1年につき10日以内)とボランティア休職(6か月以上18か月以内)の制度を設けています。

社会貢献活動

ボランティア組織「SOMPOちきゅう倶楽部」

体制

活動・実績

SOMPOちきゅう倶楽部

当社グループの役職員がメンバーとなり構成されるボランティア組織です。SOMPOちきゅう倶楽部では、メンバーが社会貢献活動を自発的かつ積極的に行うことで社会的課題に鋭敏な感性を養うとともに、レジリエントで持続可能な社会づくりに寄与することを目的として活動しています。

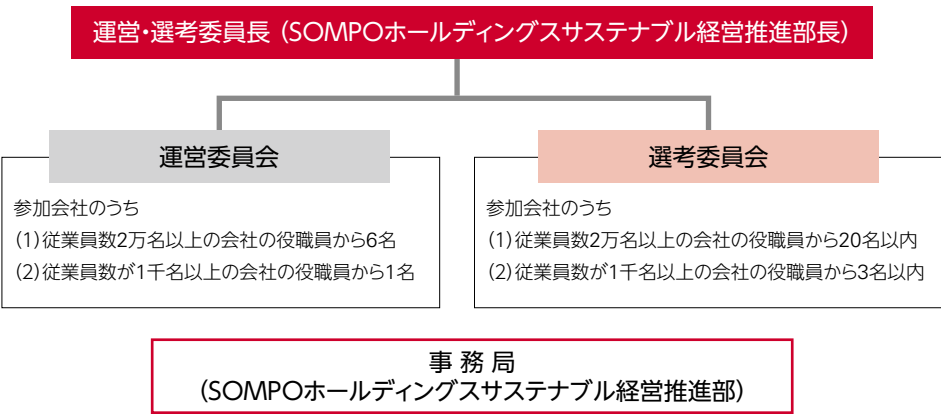
1993年の発足以降、代理店などとも協働し、森林保全活動やフードバンク、施設を訪問して行う車いすの整備・清掃など地域のニーズや特性に合った社会貢献ボランティア活動を30年以上にわたり全国各地で実施しています。

運営体制

SOMPOちきゅう倶楽部は、運営委員会および選考委員会を置き、それぞれ本倶楽部のメンバーの代表で構成しています。

運営委員会および選考委員会の長は、SOMPOホールディングスサステナブル経営推進部長となっており、事務局は、SOMPOホールディングスサステナブル経営推進部に置いています。

組織運営



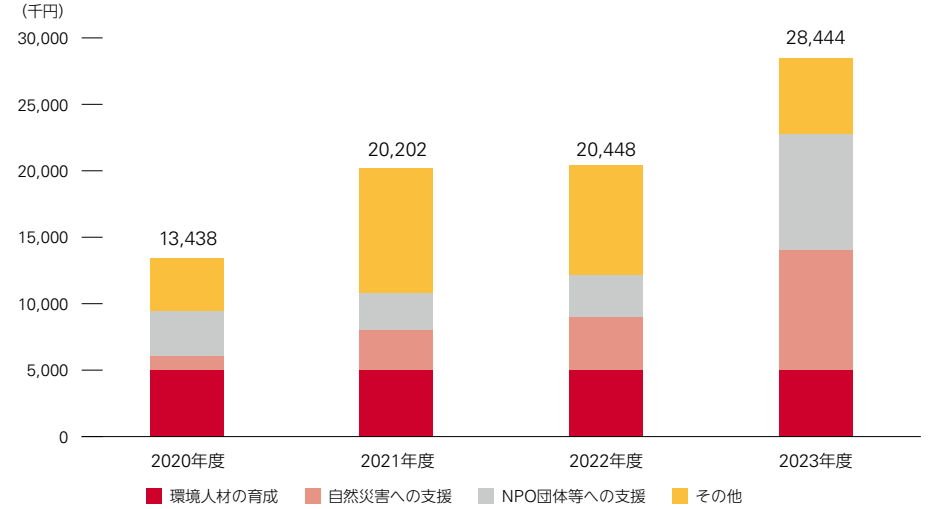
SOMPOちきゅう倶楽部社会貢献ファンド

当社グループ役職員有志が給与天引きの仕組みで任意の金額を寄付し、SOMPOちきゅう倶楽部が行う社会貢献活動などに役立てるファンドです。ファンドは、全国各地で実施するボランティア活動の費用や災害支援、メンバーが応援するNPO団体などへの寄付に活用されています。

社会貢献ファンドの活用状況

2023年度は社会貢献ファンドより28,444千円を社会貢献活動に活用しました。

SOMPOちきゅう倶楽部・社会貢献ファンドの活用推移



SOMPOホールディングス

サステナビリティ
レポート
2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

ガバナンス

データ等

：三

社会貢献活動

令和6年能登半島地震における被災地・被災者への支援

体 制 活動・実績

当社グループは、2024年1月1日に発生した能登半島地震で被災された方々の生活再建やそれを支える各種の支援活動に役立てていただくため、被災自治体との連携のもと、以下の支援を行いました。

主な支援内容

食品の提供(非常食2万食・高齢者に適した調理済み食品2万食)

グループ会社であるアルファフーズが販売している非常食2万食について、損保ジャパンの営業店を通じて被災地の方々へ提供を行いました。また、SOMPOケアフーズが介護施設へ提供している高齢者向けの調理済み食品2万食について、被災地域の高齢者施設などへの提供を行いました。

介護職員の派遣

避難所生活をされている高齢者への寄り添いや介助を目的として、避難所に対するSOMPOケアの介護職員の派遣を行いました。

支援金・義援金

被災地および被災された方々への支援を目的に、SOMPOグループより約1億2,900万円、SOMPOグループの役職員で構成するボランティア組織「SOMPOちぎゅう倶楽部」より100万円の寄付を行いました。

また、国内のグループ会社の役職員から寄付を募り、約2,100万円の災害義援金を寄付しました。



七尾市高齢者支援課へ提供



避難所での様子

多世代交流拠点「SOMPO流 子ども食堂」の運営

活動・実績

SOMPOケアは、2022年11月、全国で展開する介護付きホームをはじめとした居住系事業所を中心に「SOMPO流 子ども食堂」の運営を開始しました。現在、居住系事業所のほか、デイサービスなど約460の事業所において毎月1回開催しています。

2024年5月末までに地域の子どもたちへ提供した食事数は、累計24,008食となりました。ご利用者さまと子どもたちがお食事を一緒に食べ、レクリエーションなどで触れ合い、多世代交流を楽しめる場となっています。

同社は、「SOMPO流 子ども食堂」の運営を通じて、地域交流の場の提供、ご利用者さまの笑顔と活力向上、職員のさらなる働きがいの醸成を目指します。また、子どもたちに介護の仕事を身近に感じてもらうことで、地域の複合的な社会課題の解決に貢献していきます。



「SOMPO流 子ども食堂」の様子

SOMPOホールディングス

サステナビリティ
レポート
2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人材育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

ガバナンス

データ等

::三

社会貢献活動

交通事故傷害保険付き「黄色いワッペン」の贈呈

活動・実績

損保ジャパン、株式会社みずほフィナンシャルグループ、明治安田生命保険相互会社、第一生命保険株式会社の4社は、全国の新小学一年生に対する交通安全事業として「黄色いワッペン」の贈呈を行っています。2024年度は取組み開始から60年目の節目にあたり、記念事業として株式会社ポケモンのご協力のもと「黄色い「ピカチュウ」ワッペン」を配布しました。

「黄色いワッペン」には1968年より交通事故傷害保険がつけられており、このワッペンの交付を受けた新小学一年生が登下校の際に万一交通事故に遭い、死亡または後遺障害が残った場合、保険金が支払われます。「黄色いワッペン」を身につけることで、学校に通う子どもたちに交通安全を呼びかけ、保護者やドライバーの方々の注意を喚起し、少しでも子どもたちの交通事故防止にお役立ていただきたいと願っています。



©2024 Pokémon. ©1995-2024 Nintendo/Creatures Inc. /GAME FREAK inc.
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・フリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

SDGs推進ツール「The Action!~SDGsカードゲーム~」の提供

活動・実績

損保ジャパンでは、社会課題の解決やSDGsの達成につながる取組みを体験し、よりよい未来に向けて具体的なアクションを考えるコンテンツとして「The Action!~SDGsカードゲーム~」を株式会社プロジェクトデザインと共同開発しました。

本コンテンツを用いたワークショップでは、実社会に擬したゲーム世界のなかで、与えられたお金と時間を使ってプロジェクト活動を実行し、ゴール達成を目指すことで、現在から2030年までの道のりを体験することができます。

2021年の開発以降、地域の皆さまにSDGsを身近に感じていただける機会の提供を目的として、企業、自治体、学校などに向けて展開しており、現在全国各地で400回を超えるワークショップを開催し、延べ約9,000名の方に参加いただいています。

本コンテンツを通じて、全国に広がる拠点とステークホルダーと連携しながら、SDGs達成に向けて取組みを継続していくことで、社会課題の解決および持続可能な社会の実現に貢献していきます。



SOMPOホールディングス

サステナビリティ
レポート
2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

ガバナンス

データ等

:三

社会貢献活動

地域の防災・減災に向けた取組み(損保ジャパン)

活動・実績

防災ジャパンダブプロジェクト

災害から身を守るための知識や安全な行動を身につけていただくことを目的に、将来を担う子どもたちとその保護者を対象に「体験型防災ワークショップ」および「防災人形劇」を実施しています。2023年12月からは新たに、SOMPO流「逃げ地図」づくりワークショップを本格展開し、避難想定時の参加者間のコミュニケーション形成、地域の助け合いである「共助」の普及に取り組んでいます。2024年3月末時点において、全国で延べ685回開催し、約96,000名の市民の皆さまに参加いただいています。



SOMPO流「逃げ地図」*づくりワークショップ

「逃げ地図」とは、災害発生時に避難地点へ到達するまでの時間を色分けし、避難方向を示した手づくりの地図です。激甚化する自然災害は地域社会における最大の社会課題となっていますが、このワークショップを通じて生まれる参加者間のリスクコミュニケーションにより、地域で助け合う「共助」と防災や避難を自分ごと化して守る「自助」の形成に貢献します。

*「逃げ地図」は株式会社日建設計の登録商標です。



子どものための心理的応急処置(子どものためのPFA)啓発

「子どものための心理的応急処置」(子どものためのPFA (Psychological First Aid))は、大人が自然災害等の緊急時に、子どもたちを傷つけずに対応する方法です。損保ジャパンはセーブ・ザ・チルドレンと共同で「子どものためのPFA」に関する動画やパンフレットを制作し、啓発活動を行っています。これまで、学童保育支援員向けにPFA研修や防災ワークショップを熊本県・佐賀県で開催する活動を支援するほか、SOMPO流「逃げ地図」づくりワークショップにもPFAを組み込んで紹介しています。2024年1月の能登半島地震では、緊急支援の一環として、避難所等でパンフレットが配布されました。

Web 詳細は[子どものための心理的応急処置\(子どものためのPFA\)紹介動画](#)をご参照ください。



つながる防災プロジェクト

2022年10月から日本NPOセンターや児童健全育成推進財団と協働し、「つながる防災プロジェクト」を展開しています。児童館で行う要配慮者*との防災マップ作りや訓練、講演会などを支援し、地域防災に対する意識の向上や、人と人とがつながる持続可能な地域づくりに貢献しています。2024年3月までに158回のイベントを開催し、延べ14,000人以上の方に参加いただきました。

*高齢者・乳幼児・障害者・外国人など、災害対策基本法で規定される方々



NPOとのパートナーシップ締結

損保ジャパンは、全国各地の地方自治体とのSDGsに関する連携や、NPOとの協働に取り組んでいます。2022年3月には、岡山NPOセンターなどが提供する、西日本豪雨の経験から生まれた被災地に必要な物資調整Webサービス「できるかもリスト」*の普及促進に向け、パートナーシップを締結するとともに、当社も本リストの第一号として登録しました。また、本リストをもとに、2022年10月には地域の交通事業者と新たな支援物資の運搬スキームを構築するなど、支援の輪が拡大し、災害に強い地域社会づくりへとつながっています。

*企業が災害発生時に支援できるかもしれない物品などをあらかじめリスト化されたカタログから選択し、登録するという新たな仕組み。

防災博物館

近年は異常気象により、100年に一度と言われる災害が毎年のように発生しています。「どうすれば、災害に強い地域社会を構築し、災害で悲しむ人をゼロにすることができるだろうか」防災博物館は、このような課題に向き合いたい社員が全国から有志で集結して立ち上がったプロジェクトで考案された空間です。防災に関する基本的な知識を学び、災害発生時に命を守ることができるように備えてもらいたいとの願いから、2023年9月1日に損保ジャパン日本橋ビル1階に設立しています。



SOMPOホールディングス

サステナビリティ レポート 2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人材育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及

防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

ガバナンス

データ等

：三

社会貢献活動

沖縄こどもみらい仕事体験イベント

活動・実績

損保ジャパンの沖縄支店が主催する、小学生とその保護者を対象とした職業体験ワークショップです。沖縄特有の課題である子どもの貧困問題に焦点を当て、子どもたちに将来の選択肢を知ってもらい、高い志を育んでもらうことを目的としています。ワークショップの最後にはお給料を渡し、買い物体験までを行うことで、副次的にお金の勉強もできる構成となっています。2023年8月に開催した第2回イベントでは、30社の多様な企業・団体による特別協賛(出展)のもと、子どもたちの可能性を広げる取組みとなりました。



SOMPOとちぎパーク

活動・実績

損保ジャパン栃木支店と栃木自動車営業部では、グループ会社を横断して、自治体の抱える課題に向き合い、栃木県のステークホルダーの皆さまと連携・協業をしながら、とちぎの安心・安全・健康なまちづくりに取り組んでいます。

当社の取組みを地域の皆さまに実際に目で見て体感いただける機会として、2024年5月に地域創生イベント「SOMPOとちぎパーク～安心・安全・健康なまちづくりに向けて～」を開催しました。自治体、企業、団体など60社と連携し、事故や災害に強いまちづくりを目指し、企業ブースや体験イベント、セミナーなど、89のコンテンツを用意し、8,860人の来場者で賑わいました。



認可保育園「SOMPOスマイルキッズ江戸川橋保育園」

活動・実績

2011年設立の一般財団法人SOMPOスマイルキッズは、東京都文京区にて認可保育園「SOMPOスマイルキッズ江戸川橋保育園」を運営しています。

保育園の定員は0歳～就学前までの64名。都心ながら多くの公園や神田川沿いの桜並木など、豊かな自然環境に恵まれた江戸川橋という街で、子どもたちは日々すくすくと育っています。

一人ひとりの存在を大切に受け止めることを通じて、生活の場であり教育の場でもある保育園において、個が輝き、集団としても充実した日々を送り、保護者や地域の皆さまに喜ばれる保育園を目指しています。

また、保育士の労働環境の向上にも注力しており、東京都の「東京ライフ・ワーク・バランス認定企業」に認定されるほか、働きやすい保育園として取材を受けるなど注目されています。



社会貢献活動

グループ会社の社会貢献活動

活動・実績

当社グループでは、地域のステークホルダーとともに、さまざまな社会貢献活動を展開しています。

【SOMPOインターナショナル】

『AgriSompo』を通じたボランティア活動・スポンサーシップ

SOMPOインターナショナルは、農業保険のグローバル統合プラットフォーム『AgriSompo』を通じて、幅広いボランティア活動を行っているほか、世界食糧賞財団の2024年Borlaug-Ruan国際インターンシップ・プログラムのスポンサーを務めています。



【グループ全社】

「クリアソン新宿」試合応援&清掃ボランティア活動

当社グループは、パーパス実現に向けた取組みの一環として、同じく新宿をホームとするサッカークラブであるクリアソン新宿とパートナーシップを結び、「新宿×スポーツが持つ力」を通じた地域社会への貢献と共生につなげています。

2024年6月7日(金)には、国立競技場でクリアソン新宿のナイトゲームが開催され、SOMPOちぎゅう倶楽部は「クリアソン新宿試合応援&清掃ボランティア活動」を実施しました。当社グループ有志は、パートナー企業として試合応援にかけつけ、試合後には、SOMPOちぎゅう倶楽部の活動としてグループ社員約130名がスタジアム内の清掃ボランティアに参加しました。また、同日に実施したクリアソン新宿のホームゲーム運営ボランティアにも約10名が参加し、グループ社員の自主性・自発性・社会性を養う機会となりました。

今後は、本パートナーシップを通じた取組みをグループ全体に広げ、SOMPOちぎゅう倶楽部の活動の活性化を図るとともに、グループの一体感を高めていきます。

【損保ジャパン ほかにグループ3社】

佐賀インターナショナルバルーンフェスタのボランティア活動

損保ジャパン、セゾン自動車火災保険、損保ジャパンパートナーズ、SOMPOコーポレートサービスの4社は、「2023佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」開催期間中、早朝や夜間係留の際に熱気球の立ち上げや回収、観客整理などを行いました。



【SOMPOひまわり生命】

福祉作業所によるパンの販売

SOMPOひまわり生命本社ビルでは、月に1度、福祉作業所の方が焼き立てパンの販売を行い、社員が購入しています。福祉作業所は障がい者の就労支援のための施設で、主に知的障がいのある方々が日々いろいろな作業を行いながら、地域社会に参加されています。



【SOMPOシステムズ】

学校でのプログラミング・イベントの開催

2016年度から特定非営利活動法人みんなのコードと提携し、学校でのプログラミング・イベントを開催しています。

2023年度は、地域の子どもたちがテクノロジーを創造的に楽しむことを支援するため、SOMPOシステムズ本社のある東京都多摩地区の小学校2校でプログラミング・イベントを開催し、70名の児童が参加しています。



【プライムアシスタンス】

国際女性デーにおけるミモザミニブーケ配布イベント協賛および参加

3月8日国際女性デーにおいて、鹿児島県民にジェンダー平等について考える機会の提供を目的とし、鹿児島市の商業施設にてミモザミニブーケを配布するイベントに協賛・参加しています。



サステナビリティ レポート 2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人材育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

ガバナンス

データ等

:三

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

公益財団法人SOMPO福祉財団

活動・実績

1977年に設立された公益財団法人SOMPO福祉財団は、国内ならびにASEAN加盟国、インドおよび南アフリカで活躍する社会福祉分野の非営利団体への助成や、社会福祉・社会保障・保険・ジェロントロジー(老年学)に関する研究会の開催や研究助成、社会福祉の分野における優れた学術文献の表彰などの事業を通じて、社会福祉の発展と向上を目指しています。

また、超高齢社会を見据え、認知症などの高齢者を在宅で介護する家族への支援や、介護福祉士を目指す学生・生徒の奨学金給付事業などを行い、複雑化する社会的課題の解決に資する活動を推進しています。「社会福祉の活動」と「社会福祉の学術研究」の両面から、時代のニーズにあわせた事業を展開しています。

自動車購入費助成

1999年から障害児・者に対する福祉活動を行う団体に自動車購入費を支援する事業を行っています。

2023年度は、東日本地区で募集をし、10団体に助成をしました。自動車の購入は、団体の活動範囲や活動規模が拡大し、障害児・者の収入の増加や利用者の増加につながっています。



車椅子の乗り入れが可能な自動車を助成

NPO基盤強化資金助成

2004年から地域を支えるNPOの活動基盤の強化に必要な資金を支援する事業を行っています。

2023年度は、「組織の強化」と「事業活動の強化」に必要な資金を助成するプログラム、認定NPO法人の取得資金を助成するプログラム、地域住民が生活課題に包括的な支援を行うための住民参加型の福祉活動資金を助成するプログラムを、あわせて32団体に助成しました。地域の中核となり、持続的に活動ができる質の高いNPO法人づくりや、地域共生社会を実現するための支援を行っています。



子どもたちの豊かな想像力を育む
「全日本こどもお笑いコンテスト」への助成

海外助成

2010年から社会福祉分野で活躍するASEAN諸国、インド、南アフリカの非営利団体を支援する事業を行っています。2023年度は、聴覚障害児童が成長できるよう聴覚補助装置などを支援(インドネシア)、避難所の1年間の食糧を必要とするWAO暴力被害者シェルタープログラムを支援(マレーシア)、貧困な高齢者の医療費、食費、植生用の野菜と果物の苗木を必要とするヘルスケアとウェルネスプログラムを支援(フィリピン)、学校と連携し貧困な生徒やその家族にチャリティー・フードバックを支援(シンガポール)、新型コロナウイルス感染症によって両親を亡くした子供たちの教育充実プロジェクトとして音楽鑑賞会費用を支援(ベトナム)するなど、5か国の5団体に助成しました。



フィリピンでの贈呈式



インドネシアでの贈呈式

SOMPOホールディングス

サステナビリティ
レポート
2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人材育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

ガバナンス

データ等

:三

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

SOMPO福祉財団賞

1999年度から将来が期待される若手・中堅の研究者を対象に、優れた社会福祉学術文献を表彰する事業を行っています。2023年度は、丹波史紀氏が『原子力災害からの複線型復興－被災者の生活再建への道』で受賞されました。また井川裕寛氏が『近代日本の仏教と福祉－公共性と社会倫理の視点から』で奨励賞を受賞されました。贈呈式を2024年3月に、丹波史紀氏による受賞記念講演会・シンポジウムを2024年7月に開催しました。



財団賞受賞の丹波さんと西澤理事長



贈呈式

在宅で高齢者を介護する家族の交流および研修への支援

1991年から、在宅で認知症高齢者を介護する家族の癒しと介護技術などのレベルアップを図るための交流、および研修に対する支援事業を行っています。



介護技術の研修

介護福祉士を目指す学生への奨学金の給付

従事者不足が課題となっている介護福祉人材の育成を目的として、介護福祉士を目指す2年制の専修学校生と福祉系高校生を対象に奨学金を給付しています。

2023年は、専修学校1年生10名と、高校2年生3名を採用しました。学校卒業後は多くの方が福祉現場で活躍しています。



介護福祉士を目指す学生の実習風景

福祉諸科学事業

ジェロントロジー(老年学)分野における独創的・先進的な研究などに対して研究助成を行っています。このほかにも、保険業法に関する研究会、健康保険・介護保険システム研究会、ジェロントロジー研究会などを開催しています。また財団叢書を発行して図書館など、広く一般的に研究の成果を公開しています。



保険業法に関する研究会

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会への貢献

公益財団法人SOMPO美術財団(SOMPO美術館)

活動・実績

SOMPO美術館は“社会貢献の一環として一般のお客さまに芸術鑑賞の場を提供したい”との願いから1976年に新宿に開館しました。

アジアで唯一ゴッホの《ひまわり》を鑑賞できる美術館であり、西洋絵画から現代アートまで幅広いテーマでの“個性的で魅力的な展覧会”の開催、収蔵作品の貸し出しによる芸術鑑賞の場を拡げる活動などを通じて、心豊かな社会の実現を目指しています。また、対話による鑑賞を中心とした教育活動・公募コンクールによる新進作家の支援などを通じ、芸術文化の知見を活かした社会課題解決にも取り組んでいます。

国内外から幅広い世代が訪れる美術館づくりに取り組み、さらなる文化・芸術の振興を通じて社会に貢献していきます。

2023年度の展覧会事業

2023年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行して美術館も通常運営に戻りつつあるなか、春は「ブルターニュの光と風」、夏は「山下清展」、秋は「ゴッホと静物画」、冬には公募展「FACE展2024」を開催しました。とくに「ゴッホと静物画」は、2020年に新館開館記念として予定するも新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となり、3年越しに実現した待望の展覧会で、多くの皆さまにお越しいただきました。

ブルターニュの光と風 画家たちを魅了したフランス〈辺境の地〉

豊かな自然とケルトの伝統を色濃く残した独自の文化で知られるフランス北西部の半島、ブルターニュ。本展では、この地に魅了された画家たちによる作品を通じて、同地の歴史や風景、風俗を幅広くご紹介しました。ブルターニュを主題とする絵画作品の充実度ではフランス随一を誇るカンパール美術館の所蔵品を中心に、45作家による69点の油彩・版画・素描で構成した本展では、日本ではなじみのない〈辺境の地〉が放つ魅力を、「自国の内なる異世界」として「発見」していった19・20世紀の画家たちの好奇の眼差しを追体験するようにご覧いただく機会となりました。

会期：2023年3月25日(土)-6月11日(日)



生誕100年 山下清展 百年目の大回想

山下清(1922-1971)は放浪の天才画家として知られており、懐かしい日本の原風景や名所を貼絵で表し、多くの人々の心をとらえました。生誕100年を記念する本展では、代表的な貼絵の作品をはじめ、子供時代の鉛筆画や後年の油彩、陶磁器、ペン画など約190点の作品、そして旅に持参したリュックや浴衣などの関連資料を展示し、山下清の生涯と画業を辿るとともに、49歳で逝去するまで精力的な活動を続けた山下清の芸術家としての真の姿をご紹介します。

また、展覧会にあわせてワークシートキットを作成し、来館した小学生に配布しました。展示作品に関連した技法を楽しみながら体験することで、作家や作品への理解を深めてもらうためのものです。これまで当館では、夏休みと重なるさまざまな展覧会でワークシートを活用してきました。キット名は、「ゴッホの「ひまわり」ではり絵カレンダーを作ろう！」です。山下清が得意とした貼絵を題材にしました。当館収蔵のゴッホ《ひまわり》の線画がプリントされた紙に、色紙をちぎってはり付け、数字や予定を書き込んでひと月分のカレンダーを作ります。このキットは、当館のホームページからもダウンロードできるようにし、3分の作り方動画も作成・公開しました。

会期：2023年6月24日(土)-9月10日(日)



ワークシートキット完成例

ゴッホと静物画 伝統から革新へ

「静物画を知らなければゴッホは語れない」をキャッチコピーのひとつに掲げた本展は、文字通り「静物画」とフィンセント・ファン・ゴッホ(1853-1890)との関わりに焦点をあてた展覧会です。本展ではゴッホによる25点の静物画に加えて、クラス、ドラクロワ、マネ、ルノワール、セザンヌ、ゴーギャン、ヴラマンクなど、17世紀から20世紀初頭のほかの作家による静物画をあわせて展示し、静物画の変遷とともに「ゴッホがゴッホとなる」過程をご紹介します。

また、本展では展覧会オリジナルの商品を多数作成し、ミュージアムショップで展開しました。本展の目玉であるゴッホの作品《アイリス》を使用したクッキー缶には、展覧会ロゴをあしらいました。

会期：2023年10月17日(火)-2024年1月21日(日)



アイリス缶クッキー

SOMPOホールディングス

サステナビリティ
レポート
2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

ガバナンス

データ等

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会への貢献

2023年度の鑑賞教育活動と福祉分野への取組み

鑑賞教育活動

新宿区立小中学校を対象とした「対話による美術鑑賞教育」支援事業は16年目を迎えました。コロナ禍の窮屈な鑑賞会から抜け出し、子どもたちは本物の作品と出会い、「見て」「感じて」「考えて」「話して」「聞く」鑑賞活動を楽しみました。

2023年度は小学校29校(全29校中)・中学校7校(全10校中)の授業支援をすることができました。新しい取組みとして、多国籍の児童・生徒が取り残されない鑑賞会を目指し、対話のツールとして英語・韓国語・中国語(簡体字・繁体字)の「多言語鑑賞カード」を作成し、展示室での活用をスタートさせました。

ボランティアガイドスタッフは今年度15期生12名が新たに加わり、総勢80名で活動を行いました。夏の講演会では、特定非営利活動法人アーモンドコミュニティネットワーク理事長・水谷裕子氏に「傾聴」をテーマにお話いただき、子どもとの対話の時間にもっとも大事にしている「聞く」姿勢を学び直しました。

福祉分野への取組み

博物館法改正をふまえ、今年度から高齢者福祉施設などでの鑑賞を想定した動画シリーズ「SOMPO美術館 アートにふれる10分間」(第1回：ゴッホ《ひまわり》)を作成し、福祉分野への取組みをスタートさせました。

さらに、美術館の福祉への貢献を目指して高齢者ホーム(グループ会社「SOMPOケア」)の施設約450か所)にもワークシートキット“ゴッホの「ひまわり」ではり絵カレンダーを作ろう!”を届けました。各ホームでは「子ども食堂」というイベントを通じて、訪れた小学生と入居者が一緒に美術を楽しみました。



美術館での鑑賞会



子ども食堂でのイベント

美術家の支援、表彰

「FACE」の全国公募および「FACE展」の開催

2012年度に開始した全国公募の現代絵画コンクール。第12回目となる「FACE2024」では全国から1,184作品の応募がありました。野口玲一氏(三菱一号館美術館上席学芸員)、大島徹也氏(多摩美術大学教授)、森谷佳永氏(神奈川県民ホールギャラリー学芸員)、秋田美緒氏(国立西洋美術館学芸課研究員)、梅本武文SOMPO美術館館長(当時)の5名を審査員に「入選審査」と「賞審査」を経て、入選作品78点(うち受賞作品9点)を決定。SOMPO美術館では、さまざまな技法やモチーフで時代の感覚をとらえた「真に力があり、将来国際的にも通用する可能性を秘めた」入選作品を紹介する「FACE展2024」を開催し、会期中は観覧者投票による「オーディエンス賞」などの企画も実施しました。

FACE2024グランプリは津村光璃さん(2000年生まれ)が受賞しました。選考結果は当館ウェブサイトなどで公表、また表彰式と内覧会では受賞者に盾を授与するとともに、受賞・入選作家が審査員や美術関係者、マスコミなどにつながる場や機会を提供しています。

この公募コンクールが「年齢・所属を問わない新進作家の登竜門」となり、新進作家への末永い支援活動となることを願っています。

「FACE展2024」

会期：2024年2月17日(土)-3月10日(日)

SOMPO美術館賞の提供

新進美術家の支援・育成を目的とする「SOMPO美術館賞」を21の美術団体が実施する公募展に提供しました。

津村光璃
《溶けて》
2023年 可溶性建築染料・
蠟けつ染め・綿布・パネル
160×200cm

SOMPOホールディングス

サステナビリティ
レポート
2024

イントロダクション

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

DEI(Diversity, Equity & Inclusion)

人育成

人権

健康経営

金融包摂・あらゆる人々やリスクに
対する保険普及防災・減災(自然災害への社会の
レジリエンス向上)

安心・安全なモビリティ社会への貢献

健康寿命の延伸

持続可能な社会保障制度への貢献

お客さまサービスの品質向上

社会貢献活動

社会福祉の「活動と研究」を支える取り組み

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会へ
の貢献

ガバナンス

データ等

文化・芸術を通じたコミュニティ・社会への貢献

主な作品貸出協力

2023年度は収蔵作品7点を5つの展覧会に出品しました。なお「シュルレアリスムと日本」展は、3月から2024年度にかけて板橋区立美術館と三重県立美術館でも開催しました。

パブロ・ピカソ《宝石》

「スペインのイメージ:版画を通じて写し伝わるすがた」展

(長崎県美術館 4月8日-6月11日、国立西洋美術館 7月4日-9月3日)

横須賀幸正《諸行無常(時間)》

「海辺のプリズム 横須賀幸正展」

(公益財団法人常陽藝文センター 5月31日-7月30日)

笠井誠一《二つの卓上静物》、小杉小二郎《月・追憶》

「新たな時代のエトランゼーパリへ渡った日本人画家たち1950-70sー」

(小杉放菴記念日光美術館 9月16日-11月19日)

東郷青児《超現実派の散歩》

『「シュルレアリスム宣言」100年 シュルレアリスムと日本」展

(京都府京都文化博物館 12月16日-2024年2月4日)

東郷青児《巴里の女》、《スペインの女優》

「マリー・ローランサンー時代をうつす眼」

(アーティゾン美術館 12月9日-2024年3月3日)

人形劇場「ひまわりホール」

活動・実績

損保ジャパンは1989年に開設した名古屋ビルの人形劇場「ひまわりホール」を、地元の人形劇関係者を中心に設立されたNPO法人愛知人形劇センターと共同で運営しています。

ひまわりホールでの国内外の人形劇の上演、ワークショップ、損保ジャパン名古屋ビル全体を利用した子どもアートフェスティバルの開催、P新人賞NEXT(人形劇の明日を担う斬新な才能を発掘するワークショップ)の実施など、人形劇の盛んな地域で全国的に注目される多彩な活動を展開しています。

2023年からはSOMPOケアが運営する愛知県内の「そんぽの家」で、子ども食堂開催に協力して人形劇の出張公演を実施するなど、地域の社会貢献活動にも力を入れています。



ひまわりホールでの上演の様子「人形劇 寿歌」



「そんぽの家」での人形劇上演の様子